

SCOUTING

スカウティング

Scout Association of Japan www.scout.or.jp
平成19年1月1日発行 毎月1回1日発行 第644号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

NO.644 2007/1



第5回アジア冬季大会奉仕 撮影：青森・相馬 勉

- 世界スカウト運動創始100周年の年頭に寄せて
- 座談会：ボーイ隊の長期キャンプを見直してみよう！
- 新春弥栄（誌上名刺交換）



財団法人

ボーイスカウト日本連盟



新年のご挨拶

世界スカウト運動創始100周年の年頭に寄せて

財団法人ボーイスカウト日本連盟 理事長 橋本 綱夫

新年あけましておめでとうございます。

本年は、いよいよスカウト運動創始100周年を皆さんとともに迎えることになりました。この運動の新たな世紀に向けてのスタートを切る年です。

スカウト運動が世界に広がり、100年間もの長きにわたり続けられ、常に発展してきたのは、驚くべきことです。100年前のイギリスにおいて求められていた「青少年の健全育成」という社会のニーズに応じて始まったスカウト運動。それが国を超え、時代を超えていく中で、多様な文化や環境にあわせて、適切にその教育手法や組織運営をアレンジしていくことができたからこそ、今のスカウト運動はあるのです。

そして、そのような変化を遂げながら、同時にこの運動の本質を常に保ち続けてきたということもまた、スカウト運動が長年にわたり社会からの評価を得てきた大きな要因でもあります。

子どもたちの冒険心を誘い、身体を強くする野外活動。ある程度の幅を持つ年齢層での少人数グループ編成。そのリーダー格となる子どもを成人指導者が支え、子どもたち同士での学び合いを促すパトロールシステム。そしてバッジシステムによる個々の成長。これらの組み合わせによるスカウト教育プログラム。

この運動に関わる皆さんにとってはあるいは当たり前のように感じられるものかもしれませんが、100年前に創始者ベーデン-パウエルが編み出したこの教育システムは、その後各種の組織や教育運動がその考え方を採り入れるだけの、卓越したものです。

また、スカウト運動と他の教育団体等との大きな違いの一つに、長年の経験の蓄積により体系化された指導者の育成システムがあります。子どもたちの活動を支援する成人指導者がこれほど継続的に、多数この運動に参加し、支えているということもまた、驚きに値するものです。

教育システムと指導者の育成システムの二つは、スカウト運動にとっての大切な資産、いわば土台です。

あらゆるシステムはそれ自体、時代とともに常に見直され、改革され続けていかなければならないという宿命を負っています。その歩みを止めた途端、常に変化し続ける周囲のあらゆることから遅れをとってしまうからです。

我が運動の土台はいつの時代も適切に修正・改善されてきたことで、その本質のすばらしさを保ち続けてきたのです。私たちはこれからも常に時代を見据え、周囲の発展とともにこの運動を磨いていかなければなりません。

さて、少しだけ個人的な話をしますが、私は少年時代、トロイの遺跡を発掘したシュリーマンの伝記をはじめとした考古学関連の本が好きで、その世界にロマンを感じていました。大きくなったら世界の遺跡に挑んでみたいという希望もありましたが、私が青年の頃には日本はまだまだ貧しい時代でしたし、私も経済的に余裕のある境遇にはなく、その道に足を踏み出すことさえできませんでした。

現代では、交通や通信の発達で世界は私たちにとって本当に身近なものになりました。アルバイトをして夏休みなどに諸外国を旅してまわる学生もたくさんいますし、彼らはそうした旅で出会った世界各地の人たちとEメールや携帯電話で交流を続けています。そんな彼らを羨ましく思うと同時に、そのような時代に生きる青少年のための教育はどのようなものであるべきか、皆さんと一緒に考えていく必要性を強く感じずにはられません。

皆さんご承知のとおり、ボーイスカウトは社会に主体的に関わっていき、より良い社会を切り開いていける人材を育む運動です。そしてその青年たちが関わっていく

社会は、今や世界との関わり合いぬきで考えることは不可能だといっても過言ではないでしょう。

2015年に開催される第23回世界スカウトジャンボリー開催地に日本連盟が名乗りを上げたことは、こうしたことを皆さんと一緒に考えていける絶好の契機となりますし、またその日本開催が実現した際には、全国のボーイスカウトがその先導役となって、我が国全体で考え、取り組んでいく機会となるでしょう。

平成17年に設けられたスカウト運動推進委員会から出された検討課題は、教育本部コミッショナーのもと、各委員会に託され、さらに具体的な取り組みを進めていただいています。教育プログラムをより良いものにしていき、そしてそれをより良くスカウトたちに提供していく魅力的な指導者を育成していくこと。この二つの課題はまさに本運動の根幹であり、教育本部を中心に、全国の指導者の皆さんのご協力をいただいで初めて達成できる最重要の課題です。理事会としても、新たに政策委員会という機関を設け、皆さんの取り組みをサポートしていけるよう努めてまいります。

数々の100周年記念事業や1,500人規模での世界ジャンボリー派遣など、今年も多くがごさいます。これらを通じて青少年の育成に取り組んでまいりますと同時に、前述のように、常にこの運動の本質を大切に守り育てながら、皆さんとともにより良いスカウティングを推進してまいりたいと思います。

本年もよろしくお願いたします。

2007年1月

はしもと・つなお

ソニー株式会社 元副会長

財団法人ボーイスカウト日本連盟では、橋本理事長を中心とした理事会の中で、主に担当する分野をそれぞれ設け、教育本部の支援をはじめとする様々な課題に臨んでいます。

■教育本部の支援：古賀副理事長

政策委員会委員長として、スカウト運動推進委員会から出された検討課題に取り組んでいく教育本部のサポート、フォローアップを主務としています。

■第23回世界スカウトジャンボリー招致：廣瀬副理事長

日本招致委員会委員長としての任務を中心に（12月号巻頭記事参照）、日本連盟の財政面の再建策も併せ、政財界とのパイプ役として活動しています。

■スカウト運動創始100周年記念事業：上島常務理事

同事業推進委員会委員長としての取り組みのほか、常務理事として、理事会の任務を実務面でサポートすべく日本連盟事務局を所管しています。



写真右から2人目の橋本理事長をはさんで、
左：古賀正一 副理事長（(学)市川学園 理事長・(株)東芝 元副社長）
右：廣瀬 修 副理事長（(株)サーベラスジャパン アドバイザリーボード
ヴァイスチェアマン）
最左：上島真一郎 常務理事（スエヒロ陸商事（株）顧問）

座談会

プログラム活性化のキーポイント ボーイ隊の長期キャンプを見直してみよう！

ボーイスカウト隊において夏の長期キャンプは、1年間の集大成であり、プログラム年度の締めくくりとなる大切な活動です。平成16年度から日本連盟プログラム委員会の中に設けられている「野外活動研究チーム」では、いくつかの県連盟のスカウトを対象に野外活動に関するアンケート調査を実施しました。それによるとボーイ隊の夏の長期キャンプの多くが2～3泊の日程で行われているという状況が見られました。

同チームでは「夏の長期キャンプ」の日程が、以前とくらべて短くなっていることが、ボーイスカウト隊のプログラム活動の沈滞・停滞の原因の一つではないかと考え、5泊以上の夏の長期キャンプを実践している方々を招いて座談会を開きました。



■上道委員長

目新しいものを導入するだけでなく、これまであったものを見直してよりよく改めしていくこともまた改革。スカウトの得意分野であるキャンプの良さを見直して、もっとシンプルなプログラムでもいいのかと最近考えています。

という意識はまだまだ私たちの中に強くあると感じますし、また実際にスカウトキャンプはそうでなければならないとも思います。しかしながら、私たちは本当にスカウトたちにほんものスカウトキャンプを提供できているのだろうかという疑問を当委員会では抱いているんです。

平成16年度に実施した調査では、過半数のボーイ隊が3泊

■上道プログラム委員長（座長）

私たちボーイスカウトは、一般的にこの運動の外部の方々から「キャンプの達人」というように見られていますし、私たち自身もそう自負してきたと思います。しかし最近では他団体や自治体でも10泊ものサマーキャンプなどを開催しており、参加者が抽選になるほどの人気を集めています。キャンプはもはやボーイスカウトの専売特許ではないわけですね。

とはいっても、「ボーイスカウトのキャンプは一般の体験キャンプのようなものとは一味違うんだ」

以下のキャンプしかしておらず、4泊以上でやっている隊は2割しかないという結果でした（右頁囲み参照）。もちろん単に日数が多ければいいということではありませんが、プログラム委員会としては、本来のスカウトキャンプの良さは、もう少し長めのキャンプでこそ実感できるのではないかと考えています。具体的には、「長期」という場合、身体的、精神的負荷などを班活動を通じて乗り越えて、「一皮むけて成長する」には、5泊以上が最低条件だろうと考えています。

そこで本日は、長期キャ

野外活動に関する座談会 —5泊以上の夏の長期キャンプを 実践するために—

平成18年11月11日（土）
神奈川県立芦ノ湖キャンプ村

出席者

東京・大田第17団 高橋紳一郎BS隊長
兵庫・西宮地区 中島靖浩地区コミッショナー
神奈川県立相原高等学校 倉田武明教諭
（神奈川・座間第1団RS隊長）
日本連盟プログラム委員会
上道小太郎委員長
鹿ノ内美知子、安藤正紀、小林 透 各委員



ンプを実践している隊指導者をはじめ、外部団体などにおいて一般の青少年を対象に長期キャンプに携わっている方にもご参加いただき、ボーイスカウトの「キャンプ力を高めるための夏の長期キャンプはどうあるべきか」というような視点で、いろいろとお話を伺おうというわけです。今日は野外でキャンプファイアを囲みながらお話す予定が、あいにくの天気でキャビン内での開催となりましたが、皆さん、日頃考えておられることを忌憚なくお話いただければと思いますのでよろしくお願いします。

■一同 よろしくお祈りします。

キャンプの魅力を語ろう

■上道 まずはボーイスカウト隊のキャンプ活動を日頃地区で指導しておられる中島さんや、実際にスカウトと実践されている高橋さんに伺います。どのような経緯で5泊以上の長期キャンプを始められたんですか？

■中島さん（兵庫・西宮地区 地区コミッショナー）うちの地区では以前から10泊をやっている団もあり、うちの団も伝統的に6泊でやっていたんですが、それはやはり例外的な存在で、だいたい多くの団は3泊までという感じでした。そんな中、上道さんがおっしゃったような問題意識の声が仲間から出てきて、5年ほど前から地区で「5泊以上の夏キャンプをしよう！」という呼びかけを始めました。



■中島さん
夏のキャンプがスカウトたちの1年の総仕上げの場として「目標」となり得るような魅力的なものになれば、普段の活動から充実してくるんですよ。

もちろん指導者側は大変なわけですが、「やってみたら良かった」という声があちこちから聞かれ始めて、次第に地区内に広がっていきました。今では最低4泊、概ね5泊6日が標準、という感じになってきました。

■高橋さん（東京・大田第17団 BS隊長）数年前まではうちの隊でも4泊程度のキャンプでしたが、ある夏、東京連盟のサマーキャンプと大田地区のキャンポリーの日程がちょうど連続するような具合になって、さらに団キャンプもあって全日程参加した子はひと夏で15泊くらいしたんです。なんだかんだで8割くらいのスカウトが長期キャンプを体験するうち、「やってみるとできるものだ」という意識も出てきました。そのころ、ある班長が「来年は20泊くらいの隊キャンプをやりたい」と言い出しまして、「それはいくらなんでも半分くらいにしたら」という話になって、9泊10日のキャンプをやってみたくて、するとこれまでのキャンプでは味わえなかった面白さというのが見えてきて、今ではすっかり「4日目に帰るなんてもったいない！」という感じです。

■上道 他の社会教育団体の活動に詳しい倉田さん、一般のキャンプはどんな様子ですか？

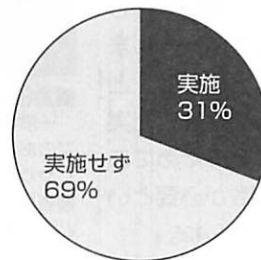
■倉田さん（青少年活動施設勤務経験者・高等学校教諭）長いものでは夏に30泊ものキャンプをするグループもあります。そうしたキャンプには多くのリピーター層がいて、



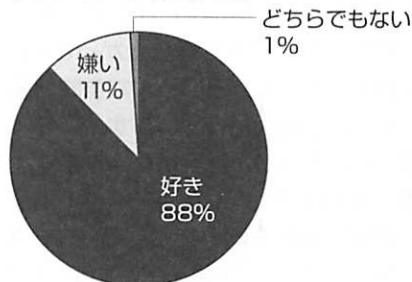
スカウトの野外活動に関するアンケート

BS 隊 調査数：6県連盟・スカウト 219 人
(平成 16 年 11 月実施)

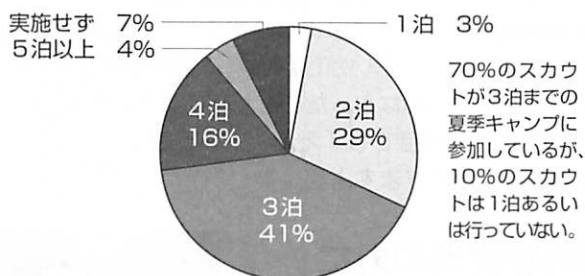
■班キャンプ実施率



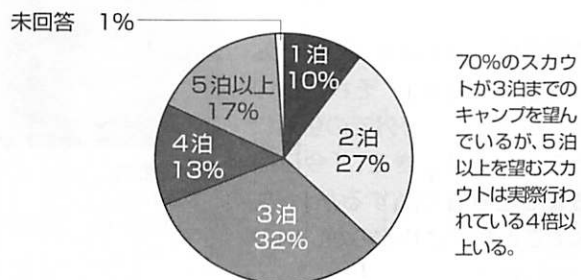
■キャンプは好きか



■夏の隊キャンプ宿泊数



■夏の隊キャンプ希望宿泊数



上級班長やローバースカウトのような立場で高校生や大学生が活動を支えている面もあります。やはり長期のキャンプのインパクトは強いんでしょうね。

■**上道** 少し短絡的ですが、たとえば「長期キャンプをすればボーイスカウト隊のプログラム活動が活性化する」というような仮説は成立するでしょうか？

■**中島** 私にとってはですが、一般的なファミリーキャンプのようなものはいくら長くても魅力は感じません。1年かけて築いてきた班でいろんな技能を発揮して、優秀班をとる、というところにボーイスカウトならではの夏キャンプの楽しさの本質があると思うんです。夏だけ単に長くキャンプしても、ちょっとどうでしょう？ 疑問ですね。

■**倉田** 他団体の一般児童を集めた体験キャンプのプログラムは、一つのことが済むと次はこれ、その次はこれ、とちょっとずつ冒険度・達成度を増していき、サプライズの連続で押していくようになっていたりします。「今日はこれができた」という成功体験の積み重ねで充実させるんですね。そのためにある程度の長さの日数が必要という感じかもしれませんね。



■**倉田さん**
一般の子どもを集めたキャンプのあと、子どもは「もっと長くやりたい」といい、手伝う保護者は「来年は半分にしたい」といいます。まず大人がその気になれるか、がポイントでは？

■**高橋** もちろんスカウトキャンプの方式をベースとしてですが、仮に4泊までくらいの今までのキャンプを無理やり10泊に伸ばしてみたとしたら、それはかなりの確率で盛り上がり私は思いますよ。6日目を超えたあたりからいろんな意味で面白くなってきます。試してみる価値大だと思えます。

■**上道** たとえばどんな変化がありますか？

■**高橋** 4泊までくらいですと、中日にハイキングに出かけると設営・撤営を除いた遊べる時間、生活の時間って、その前後1日ずつしかありません。そこで何をやるか、というのがある程度見えてしまいます。ところが長期でやると、後半あたりからは日にちの感覚も麻痺してきて、非現実的な時間が流れるようになります。妙な料理が出てくるようになったり、思いがけない構築物が出現したり、いろいろと想定していなかったことが起こるんです。そうなると、9日目でも「ええ～、もう帰るの？」というような反応が出てきますよ。

野外が生活の場になってくる

■**安藤委員** (日本連盟プログラム委員会 神奈川) それだけの長さがあると、野外での生活にとことん埋没できて、「今日はちょっと昼寝でもするか」、なんてことが許されるのがいいのかもしれないね。



■**安藤委員**
隊長だけのがんばりに頼らず、地区や県レベルで人的なサポート体制なども感考えていかないと……。

■**中島** 「生活」というのはキーワードですね。これは長期以前の基本の話ですが、キャンプの献立一つとっても、スカウトたちが自分たちで好きに組むようにすると、それだけで集会の出席率が上がってくるという感触がありますよ。

■**上道** 3泊までなら着替えを持って行けて洗濯も不要だし、食事もまずくても我慢できますし、へたをするとトイレの大きいほうも我慢できてしまうかもしれません。これではやはり「キャンプ生活」とは呼べないかもしれませんね。

■**高橋** うちも4泊くらいのキャンプをしている間は「うんこ選手権」なんていって、たくさんしたスカウトを表彰したりして排便を促していましたが、5泊を超えたくらいになってくるともう、しないわけにいかないんですね。



■**高橋さん**
班の仲間との時間がたっぷりある長期キャンプは余裕の中からスカウトの自主性もぐんぐんわいてきます。この楽しさをぜひ体験してみてくださいね。

3泊4日くらいだと献立なんかも予め固まってしまうでしょう。長期でやると「今日は缶詰で適当に済ませて遊びにいこうぜ」というようなズルをする班も出てきます。大人のいない場所でそんな企みの相談なんかするのって最高に楽しいですね。そういうのが班の仲間との生活なんだって気がします。

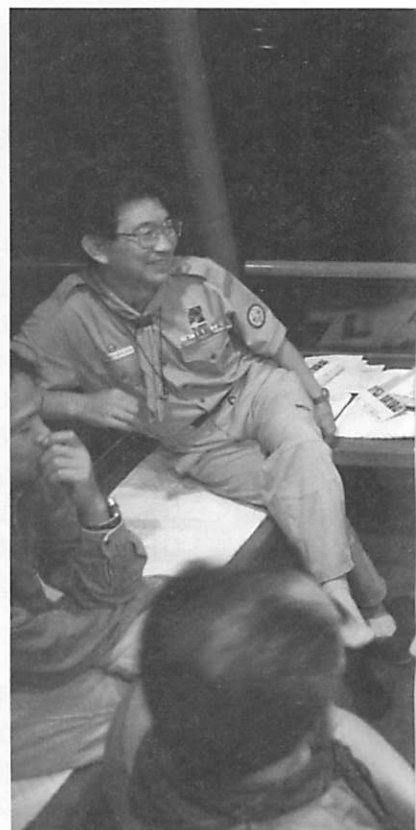
■**倉田** 野外で生活すると、「刃物を使う」「火をつける」「服を汚す」、というような普段親から「やってはいけません」といわれていることがおのずと体験できますよね。社会教育団体のキャンプなんかはあえてそれをさせる、という感じで考えているものもありますよ。

■**中島** それこそ子どもたちにとってのサプライズなんでしょうね。大人が凝ってしかけるものだけじゃなくて。

■**高橋** 長期でやると天気がいっぱい味わえるという楽しさもありますね。短いキャンプだと雨に降られて全体に「残念」なんて感じになったりしますが、長期でやってずっと晴れていたりするとむしろ「雨降れよ！」なんて思いますよ。

■**倉田** 雨の中でこそあの技能を試したい、というようなこともありますもんね。雨の中の火起こしなんて、本当の雨の中で必要に迫られた場面でやってこそ達成感があります。

■**小林委員** (日本連盟プログラム委員会 静岡) うちの隊は毎月キャンプをやっていますが、そうした生活が



楽しいのか、日帰りの集会よりキャンプのほうがスカウトは欠席しないですよ。

■**鹿ノ内委員**（日本連盟プログラム委員会 福井）やはりキャンプの日程や年間のプログラムはグリーンバーと指導者と一緒に組んでいくんですか？ 中学生の時間感覚でいうと1年先ってほとんど現実感がないみたいで、うちの隊ではスカウトたちで計画できるのはせいぜい2か月単位なんです。



■**鹿ノ内委員**
キャンプの途中で、朝早起きして部活の朝練に行ってきた、またキャンプに戻ってきてくれるスカウトなんかもいて、感激してしまいます。

■**高橋** うちの場合は長期キャンプの日程はほとんどスカウトが決めてきて、指導者はチェックという感じです。日程に余裕があるんで、スカウトはいろいろ遊びの要素を入れてくるんですね。そうすると、実はその長期キャンプを楽しむための準備で月々のプログラムが埋まっていくという感じになって、「9月はまあ、基本だな」とか、自然に決まっちゃうじゃないですか。夏キャンプに向けて苦勞なしで年間プログラムができてしまうんですよ。これは長期キャンプのもう一つのメリットかもしれません。

■**中島** 高橋さんのところはスカウト発案ということですが、うちは地区の呼びかけでやれやれ言っていたら、なんだかみんなやってくれるようになって。

やはり長期キャンプするにせよ、それが日本連盟から言われて、隊長から言われて、というのではなくて、スカウトたちの中から「やりたい」と言い出してほしいところですが。



■**小林** 最初のきっかけは大人側からでもいいのかもしれませんが、一度長期キャンプの良さを味わったスカウトたちから「またやりたい」となれば。

■**中島** 確かにきっかけとしてはそうかもしれませんね。それに、その目標があれば普段の活動も変わってきますよ。たとえば入試は子どもたちが作ったものではありませんが、入試があるから子どもたちは日頃の塾通いもがんばれるわけで、入試がないのに塾にせっせと通う子はいないですから。1年間の総仕上げとしての夏キャンプが彼らの「目標」となり得るような魅力的なものになれば、普段の活動から違ってきますよね。



■**小林委員**
普段の日帰りの集会よりキャンプのほうがやっぱり楽しいんでしょうね。毎月やってもキャンプのほうが出席率がいいんですよ。

指導者の確保が最大の課題？

■**鹿ノ内** それにしても1週間のキャンプとなると、やっぱり指導者が休みをとれるかどうかは大きな問題ですよ。皆さんはどのようにされているんですか？

■**中島** 指導者のリレー方式で交代制を敷くなど各団で工夫されていますよね。

■**高橋** たとえば9日間のキャンプなら土日スタートで土日終わらせれば会社を休むのは実質5日だけで済みますし、班が機能していれば平日は指導者が2人くらいいればなんとかなります。さらに中2日くらい若手の指導者に任せきってしまうとか工夫をしていますけど、要は一年かけて「断りきれない人間関係」をたくさん作っていくということですよ。

■**鹿ノ内** 都市部以外の団では、団で育った頼れるローバーもほとんど県外に進学していて、さすがに「バイト休んでも帰ってきて手伝って」とまではお願いしきれない、という悩みも皆さんお持ちだと思うんですね。

■**上道** 市町村のキャンプ場で働くボランティアのキャンプカウンセラーなどはほとんど地域の大学生がやっていますね。都市部でなくてもすべての都道府県に大学はありますから、うまく連携できるといいんですが。ボーイスカウトって外部の人に手伝ってもらったりすることが苦手というか、あまり上手に活用できていませんね。

市営のキャンプ場の大学生スタッフは、数千円の日当がついたりしますが、ボーイスカウトではどうも「対価」をタブー視するようなところがあります。大学生がバイトを休んで手伝ってくれるなら、不十分でも多少はその補助ができるというくらいのことは最低限必要なのかもしれませんが。このあたりが見直されていくともっと人材確保がしやすくなると思うんですが。

■**倉田** 欧米だと子どもたちのキャンプを地域の大人がいろいろ形で手伝ったりする習慣というか、文化があるんですが、ボーイスカウトって指導者の資格とか研修などのしづまりが結構ネックになっていますよね。団の指導者の中で



なんとか都合をつけないとならない。

- 安藤 「隊長がどうにかがんばらないといけない」などと個人の責任や努力での対応だけに頼ってはいけませんよね。たとえば、地区や県レベルで人的なサポート体制なども考えていかないと。固定の野営場なんかでいつでも必ず誰かスタッフがいる、というようなことができればいいんですが。そういうことを実現できるようにするのが、日本連盟や県連盟組織の存在意義なんじゃないかと思えますよ。
- 倉田 人材確保の苦肉の策でもあるのが「団キャンプ」ですね。他の部門の指導者も頼りにできるという面がありますが、果たしてそれがボーイ隊の夏キャンプとしてどうなのかということは残りますよね。
- 中島 ただ大人が誰か居れば良いというわけにもいきませんからね。やはり本来そこには1年間の活動をスカウトたちと共にしてきた隊長がいるべきで、それを補う者としての大人たちの「気持ちのリレー」がちゃんとできないと。ただ、このあたりは実際に長期キャンプをやっていっている中で、「なんとかできるな」という嬉しい実感は得つつありますが。

ほかにも課題はあるが

- 上道 人的なこと以外にも問題はありますか？ たとえば長期で使えるキャンプ場の選定や費用のことなど。
- 倉田 使用料が割安な公共の施設などだと「夏季は1団体3泊まで」というような制限があったりしますし、確かに長期での予約は難しい面がありますよね。
- 鹿ノ内 夏しか貸してくれない、というところもありますね。

■倉田 公設のところは条例などで制限されて決まっていたりしますね。でもそのあたりがかなり不評を買っていたようで、だいぶ改善されてきているようです。

■中島 「ほかに何もなければただ水場はあるからいつでも勝手にどうぞ」というようなところがボーイスカウトのキャンプとしては使いやすいですね。うちの地区で古くから長期キャンプを実践している団は、自由に使わせてもらえる山林を他県に確保していて、毎年夏キャンプはそこへ出かけていますね。

■鹿ノ内 長期キャンプなら思い切って遠方へ出てみてもいいですね。でも指導者の途中交代などの問題も含めて、近くに確保できれば便利です。キャンプで早起きして部活の朝練に行き来して、またキャンプに帰ってきてくれるスカウトなんかもいて、感激しちゃうことがありますよ。

■高橋 うちの那須野営場をよく使いますが、スカウトが歩いていける場所にスーパーがあって助かります。期間中の予算を班で管理させて、食材なんかを買出しに行かせるので。そのへんは「班の生活」にとって大事な要素です。

費用面についてはたとえば醤油は3泊でも1本買わなければなりません、10日でも1本でもっちゃうんですね。交通費だって1往復で同じ。経費的には長期キャンプは「圧倒的に効率がいい」という感じがありますよ。

■上道 長期になってくると、勉強や部活動で保護者が子どもを出したくないというようなことはありませんか？

■高橋 10日間に挑んだときには保護者のほうから「宿題が心配でそんなに長くいかせられない」という声がありました。そこでうちでは「宿題やつける日：大学生が面倒見ます」というような日を設けて説得しましたね。

■中島 うちの毎日夕方に「勉強時間」を設けましたね。やらない子はやらないんですけどね。



■倉田 一般の子どもを集めたキャンプで、保護者にも安全確保などで手伝ってもらったりするものがあるんですが、最後のアンケートで大体子どもは「楽しかった」「もっと長くやりたい」といい、大人は「来年は半分にしたい」なんていいます。やっぱり長期導入の最初の関門は指導者も含めて大人がどれだけその気になれるか、じゃないでしょうか。

■小林 指導者さえ確保できれば、細かな問題は解決できますよね。うちの地区のリーダー会でも「最低5泊でやってみよう」と呼びかけを始めたところ、「じゃあやってみようかな」という動きが出てきていますし、中島さんのお話では「やってみたらよかった」と展開していくようです。キャンペーン的な広がりが出てくれば、もっと多くの隊が試してみるんじゃないですかね。

■中島 スカウトをうまく乗せて、子どもたちから「やりたい」と言い出させるようなキャンペーンになるともっといいですね。

■高橋 それでもともあれ一度長期に挑んでしまうと、野営生活の効率はおのずと上がってきて、後半余裕の出る時間を班の仲間と過ごしていく中で「あれやろう」というような自発性は必然的に出てきますよ。やっぱり最初は指導者からのひと押しをしてあげていいんじゃないですか。

長期キャンプだと4日目くらいに「いつもならもう徹営だよ」「まだ帰りたくないよ」「ぜんぜんこれからじゃん」というような気分が必ず出てきます。これはやっぱり体験してみないことにはわからないですから、その良さをぜひ試してみてくださいね。

■鹿ノ内 実際に長期でやってらっしゃる皆さんのお話を聞いていると、どなたも「できない」って思ってるじゃないですか。「とにかくやってみよう！」って呼びかけて腰を上げてもらうことから始めれば、なんとかなっていくのかもしれないですね。

■中島 そこで腰を上げるのが大変なのは指導者ですから、やっぱりキャンペーンとする以上、何か指導者が喜びが褒美がないといけませんよ。

■上道 那須野営場優先予約&完全無料券とか、考えてみましょうか！

■一同 もっと豪華をお願いします！！

■上道 さて、まだまだお話はつきませんが、そろそろ締め

くくらせていただきたいと思います。

プログラム委員会はスカウティングのプログラムを常に時代の変化に即していけるよう改定していくという使命を持っています。しかし必ずしも今までなかった新しいものを導入することだけではなく、これまであったものを見直してより良く実践できるようにしていくこともまた改定なのかもしれない、ということも私は感じていました。今日皆さんのお話を伺いながら、もっとシンプルな本来のスカウトキャンプの楽しさというようなところを見直していくこともやはり非常に大切なのだと、改めてその認識を深めました。

これから全国のボーイスカウト隊に向けて「5泊以上の夏キャンプをやろう！」と呼びかけていきたいと思っておりますので、どうぞ皆さんも「5泊以上の夏キャンプ」のお仲間を増やしていただきますようご協力ください。今日は、あいにくの雨の中遠いところからお集まりいただき大変ありがとうございました。また機会がありましたら、「5泊以上の夏キャンプをやろう」キャンペーンの「その後」についてお話を聞かせていただきたいと思います。その節はよろしくお願いたします。

本日は皆さんいろいろなお話をありがとうございました。



会場のご紹介

神奈川県立芦ノ湖キャンプ村
 県立芦ノ湖キャンプ村はコテージ・キャンプ・オートキャンプが楽しめる自然溢れるキャンプ場です。
 寄木細工教室、ダッチオープン教室、竹筒ご飯作り体験、くんせい作り体験ほか各種の体験学習プログラムもあります。
 芦ノ湖キャンプ村の問い合わせ先：0460-4-8279
 〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164
<http://www.kanagawa-kankou.or.jp/campmura/index.html>

財団法人ボーイスカウト日本連盟 2007年の事業スケジュール

今年予定されている日本連盟の事業のうち、主な予定をご紹介します。なお日程などを含め内容が変更されることがあります。

事業名：()内は日付です

月	全国的な会議／指導者対象事業など	スカウト対象事業
1	第3回県連盟コミッショナー会議(20～21)	
2	全国組織拡充セミナー(10～11)	アジア太平洋提携プロジェクト(バングラデシュ)派遣 日台韓RSによる提携プロジェクト(フィリピン)派遣 世界友情の日(22)
3		平成18年度富士章受章スカウト顕彰 平成18年度富士章受章スカウト代表表敬
4		クラブスカウト春夏号発行(1)
5	全国大会(25～27) 東京 第1回県連盟コミッショナー会議(25)	
6		カンドルスティッチ夏季野営スタッフ派遣(～9月) 国際キャンプスタッフ計画派遣(～8月)
7		カンダージャム2007スタッフ派遣(～8月) スカウト・オーストラリア短期留学(学習旅行)派遣(7月～8月) スカウト特別海外派遣 フィルモント派遣 第21回世界スカウトジャンボリー派遣(7/24～8/12)
8		第4回APRエア・インターネットジャンボリー(4～5) 富士チャレンジキャンプ(14～20)
9		「スカウトの日」(17) 世界スカウト平和の日(18)
10	APRコース・フォー・リーダートレーナー(10～16) 第22回アジア太平洋地域スカウト会議(18～23) 第2回県連盟コミッショナー会議(20～21)	海外スカウト受入計画(11～24) 第5回APRスカウトフォーラム(12～15) 第50回JOTA(20～21) 第11回JOTI(20～21) クラブスカウト秋冬号発行(1)
11	全国事務局長会議(24～25)	オーストラリア短期交換留学スカウト受け入れ(～1月)
12	隊指導者研修改訂説明会(1～2)	ニュージーランドジャンボリー派遣(12/22-1/8) 韓日スカウトフォーラム派遣(12/27-1/3) オーストラリアムート派遣(12/27-1/14)

平成19年度 国際交流事業計画

(平成18年11月22日現在)

◆ 公募により実施する海外派遣事業

平成19年度の派遣事業として日本連盟が募集要項を作成し、公募により派遣員を選考し実施する予定のものは下記のとおりです。

No.	事業名	派遣予定期間	派遣先 (主な訪問国)	派遣の概要	募集対象				派遣予定人員	日連推薦締切	国庫補助申請
					BS	VS	RS	L			
1	平成19年度 カンドレスティッヒ 夏季野営スタッフ派遣 ※	例: 6/10-9/30 (3か月)	スイス カンドレスティッヒ 国際スカウトセンター	カンドレスティッヒ国際スカウトセンターにおいて、夏季野営スタッフとして奉仕		○	○		若干名	1/12	全額自己負担
2	カンダージャム2007 スタッフ派遣 ※	例: 7/20-8/20	スイス カンドレスティッヒ 国際スカウトセンター	カンドレスティッヒ国際スカウトセンターにおいて、カンダージャム2007スタッフとして奉仕		○	○		若干名	1/12	全額自己負担
3	国際キャンプスタッフ計画派遣 ※	6/5-8/25 (2-3か月)	アメリカ合衆国各地 (各地方協議会野営場)	アメリカ連盟各地方協議会野営場において、夏季野営スタッフとして奉仕		○	○		若干名	1/12	全額自己負担
4	平成19年度 フィルモント野営場 本部奉仕者派遣 (国際キャンプスタッフ計画) ※	例: 7/11-8/16	アメリカ合衆国 ニューメキシコ州 シマロン	アメリカ連盟フィルモント野営場において本部奉仕者として日本派遣団の受け入れにあたり通訳業務を行う			○	○	若干名	1/12	全額派遣団負担
5	平成19年度 スカウト特別海外派遣 (霞会館補助事業)	個人プロジェクト による	個人プロジェクトによる	個人プロジェクトによる		○	○	○	2-4人	4/6	霞会館補助
6	平成19年度 スカウトオーストラリア 短期留学(学習旅行)派遣	例: 7/19-8/29 (夏休み期間)	オーストラリア (メルボルン、シドニー、 パース等)	オーストラリアの高校に短期留学(学習旅行)し、スカウト活動に参加		○			若干名	4/6	全額自己負担

【グループによる海外派遣・国際協カプログラム】

1	平成19年度 フィルモント派遣	例: 7/20-8/8 (7/23-8/3)	アメリカ合衆国 ニューメキシコ州 シマロン	アメリカ連盟ハイアドベンチャーベース、フィルモント野営場のトレイルに県連盟で編成したクルーで参加		○	○	○	クルー編成 県連盟 による	4/5	全額自己負担
2	第21回世界スカウトジャンボリー派遣	7/24-8/12	イギリス エセックス チンフォード ハイランズパーク	2007年の100周年を記念する第21回世界スカウトジャンボリーに参加	○	○	○	○	S 1260人 L 282人 計1542人	締切	○
3	平成19年度 韓日スカウトフォーラム派遣	12/27-1/3	韓国	韓国連盟による招待プログラム、 両国スカウトによるスカウトフォーラム	○	○	○	○	S 18人 L 2人 計20人	未定	韓国連盟負担
4	第17回オーストラリア ムート派遣	12/27-1/14	オーストラリア	第17回オーストラリアムートへの 参加、ホームステイ、各地の見学			○	○	RS 5人 L 1人 計6人	未定	○
5	第18回ニュージーランド ジャンボリー派遣	12/22-1/8	ニュージーランド	第18回ニュージーランドジャンボ リーへの参加、ホームステイ、各 地の見学	○	○	○	○	S 10人 L 2人 計12人	未定	調整中
6	平成19年度 CJK提携プロジェクト派遣 ※	8月予定	フィリピン	日本、中国(台湾)、韓国の3か国 ローバースカウトによるプロジェクト を行う			○	○	RS10人 L 1人 計11人	未定	○
7	平成19年度 アジア太平洋提携プロジェクト (バングラデシュ) 派遣 ※	2008 2-3月予定	バングラデシュ ダッカ他	バングラデシュ連盟との提携により、 両国ローバースカウトによるプロ ジェクト等を行う		○	○	○	RS18人 L 2人 計20人	未定	○
8	ネパールプロジェクト派遣 ※ (実施調整中)	2008 3/4-3/11	ネパール カトマンズ他	ネパール連盟との提携により、 両国ローバースカウトによるプロ ジェクト等を行う		○	○	○	RS18人 L 2人 計20人	未定	○

※ 海外派遣貸付金対象事業

【国際会議および指導者の研修のための海外派遣】

1	指導者研修海外派遣<ネパール>	2008 3/4-3/11	ネパール カトマンズ	第6回APRサミット会議参加		○	○		未定	未定	○
---	-----------------	------------------	---------------	----------------	--	---	---	--	----	----	---

◆ 日本連盟関係の国際セミナー・フォーラム等

No.	名称	期間	内容	対象	参加人員
1	平成19年度 日韓スカウトフォーラム	2008 1/12-14 (検討中)	日韓スカウト交歓計画参加者と日本スカウトによる日韓スカウトフォーラム	BS VS	韓国、日本から 180人程度
2	平成19年度 日米スカウトフォーラム	2008 2/9-11 (検討中)	日米スカウト交歓計画参加者と日本スカウトによる日米スカウトフォーラム	BS VS	米国、日本から 100人程度

◆ 日本連盟主催外国スカウト受入事業

No.	名称	期間	内容・招へい国	対象	参加人員・招へい人員
1	平成19年度海外スカウト受入計画	10/11-10/24	アジア太平洋地域のスカウト連盟より24か国程度を日本に招へい(各国よりスカウト2人・指導者1人)	スカウト 指導者	スカウト48人 指導者24人 合計72人
2	平成19年度 日韓スカウト交歓計画 (韓国スカウト招聘事業)	2008 1/12-1/21	平成10年10月の小淵総理大臣と金大中大統領の共同宣言に基づく、 日韓中・高校生の交流事業(9年目)	スカウト 指導者	スカウト70人 指導者11人 合計81人
3	平成19年度 日米スカウト交歓計画 (米国スカウト招聘事業)	2008 2月	平成8年4月の橋本総理大臣とクリントン大統領が署名したメッセージ に基づく事業(11年目)	スカウト 指導者	スカウト32人 指導者9人 合計41人
4	平成19年度オーストラリア 短期交換留学スカウト受け入れ	11月下旬 -1月下旬	オーストラリア連盟よりスカウトを受け入れ、日本の高校に短期留学を し、スカウト活動に参加する	高校生年代の スカウト	スカウト1-2人

～神さまからの「ねがい」とご褒美～

金光教スカウト協議会理事 森定 信吉

私たちは、困ったときやいきづまったときなどに、神さまへお願いをすることはよくあると思います。

でも実は、神さまも、人間に対して願っていらっしゃるものがたくさんあるのです。その具体がいわゆる「教え」といわれるものに表されています。この教えには、生活する上で大切にしなければならないことや、役立つことが示唆されています。「教え」は、生活の中で実践してこそ意味があります。その実践努力を続けていくうちに、いつか神さまからご褒美として「徳」がいただけるのだと思います。それは一朝一夕でできることはありませんが、「徳」を積んでいきますと、神さまや身の回りからのメッセージや願いを感じるようになります。そうすると物事を見る視野が広くなり、家庭や社会の中での立場や自分の存在意義などもはっきりしてきて、仕事や家庭や地域でうまくいくようになるのではないかと思います。

しかし人間はどうしても神さまからの願いを忘れてしまって、自分勝手な振る舞いをしたり、物欲にふけたり、人を傷つけたりしてしまいがちです。でも、神さまに手を合わせたり、教えにふれて心が神さまに向かいますと、自己中心の姿勢を軌道修正していただけるのです。

私は以前、とかくよく腹が立つ、不平不満の多い青年でありました。先日20年ぶりにある同級生に会ったとき、彼から「なんかおまえ、ずいぶんまろくなったなあ」と言われました。私は決して徳積みのための特別な修行などしてきただけではありませんが、それでも「物事の悪い面よりも良い面を見るようにしなさい」という「教え」はいつも心に留めておくよう今も努力しています。今でもなかなかうまくはいきませんが、「そんな私にも、神さまは少しは他を認める寛大な心をお授けくださったのかなあ」と、ありがたく思いました。

B - Pもたくさんの「教え」を残していますね。それ

は具体として、「ちかい」「おきて」などに表されていますが、制服を着ているときだけがスカウトではありません。

お互いに普段の生活の中で、神さまの「教え」やスカウトの「ちかい」「おきて」を実践し、神さまとB - Pに喜んでいただけるように日々努力していきましょう。

そのうち必ず、神さまから「徳」がいただけると思いますよ。



おすすめの一冊



自由な思考を身の上とするSF作家が、「おもしろい大阪人」を書こうと、本を探して出会った「おもしろい神さま」。宗教には縁もゆかりもなかったかんべむさしさんが、ユーモラスに綴るおもしろい信心体験記です。若い人におすすめの一冊です。

理屈は理屈 神は神 かんべむさし／著
発行：講談社 価格：1,575円（税込）

INFORMATION

JANUARY
2007

日本連盟からのお知らせ

■第23回世界スカウトジャンボリー招致委員会(第1回)の開催(報告)

日時:11月10日(金) 17:00~19:00
場所:東京・サーベラスジャパン
出席:廣瀬委員長他6人
協議事項:1. テーマとコンセプトについて
2. ロゴの選定とパンフレット等の作成について
3. 今後の海外プロモーション活動について
4. 日本国内への理解促進と広報について
5. 政府支援・資金獲得計画について
6. 会場選定について
7. 招致予算について

■トレーニング委員会(第3回)の開催(報告)

日時:11月11日(土) 13:00~12日(日) 11:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:戸部委員長他4人
協議事項:1. 平成18年度後期事業について
2. 指導者養成訓練体系の再構築と新指導者訓練制度の確立について
3. 平成19年度事業計画について 他

■組織拡充委員会(第3回)の開催(報告)

日時:11月11日(土) 13:00~12日(日) 11:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席者:委員4人
協議事項:1. 前回委員会記録の確認について
2. 平成18年度事業計画の進め方について・組織拡充セミナーの開催、他
3. 「スカウト運動推進委員会」からの提案事項について
4. 今後の日程について 他

■広報委員会(第3回)の開催(報告)

日時:11月11日(土) 13:00~19:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席者:有野委員長他2人
協議事項:1. 平成19年度広報委員会関連事業計画案について
2. 「スカウティング」誌の中期企画について
3. 広報資料の作成について
・「広報マニュアル」の作成について
・平成18年度普及広報資料の作成について
・「スカウトカレンダー2007」について
4. 日本連盟ホームページのリニューアルについて
5. 商品等への日本連盟推薦名義申請およびユニフォーム使用等各種申請に関する、承認基準と手順の策定について

■安全委員会(第3回)の開催(報告)

日時:11月11日(土) 13:00~12日(日) 11:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:豊秀委員長他3人
協議事項:1. 救急法講習会開設ガイドライン設定について
2. 災害支援マニュアルの作成について
3. 危機管理への対応と、関連委員会との連携について
4. 冬季活動に向けた安全対策喚起について
5. 平成18年度事業の評価、ならびに次年度事業計画について 他

■イベント委員会(第3回)の開催(報告)

日時:11月11日(土) 13:00~17:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:西村委員長他3人
主な議題:1. 日本連盟主催大会の今後の在り方について
2. 第10回日本アグーナリーの企画案の策定について
3. 第7回ベンチャースカウト大会開催の基本構想策定について
4. 今後の予定について 他

■国際委員会(第3回)の開催(報告)

日時:11月11日(土) 13:00~12日(日) 10:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:檀上委員長他4人、参席1人
協議事項:1. 平成19年度国際関係事業計画について
2. 平成18年度国際関係事業中間評価について
3. スカウト運動推進委員会からの検討課題への対応について
4. 平成18年度国際活動セミナーについて(12月3日開催)
5. 平成18年度冬季・春季国際交流事業への取り組みについて
6. 国際活動サービスチームの発足について
7. 国際協カプロジェクトの助成について
8. 海外派遣プロジェクトの公募について
9. 国際委員会ホームページについて

■ユース特別委員会(第3回)の開催(報告)

日時:11月11日(土) 13:00~12日(日) 10:30
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:逢坂委員長他2人
協議事項:1. 若い成人のためのミニ集会提言書について
2. スカウト運動推進委員会検討課題について
3. APRスカウトユースフォーラムについて
4. 報告書のとりまとめについて
5. 平成19年度事業方針案について

■11月教育本部会議の開催(報告)

日時:11月12日(日) 12:30~16:30
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:篠田・清水教育本部副コミッショナー他16人、参席5人
承認事項:1. 県連盟コミッショナーの交替について
2. 国際活動サービスチームの設置について
3. 新規宗教章授与基準の認定について
4. 技能章課目の改定手続きについて
5. その他

- (1) 世界スカウト記章の着用について
- (2) 「冬の活動に向けて」の通達について
- (3) 第7回ベンチャースカウト大会ブロック・開催県募集要項および第7回ベンチャースカウト大会活動基地推薦要領について

協議事項:1. 平成19年度事業計画基本方針と教育本部関連の事業計画について
2. 信仰奨励章の制定について
3. 登録証の発行方法について
確認事項:1. スカウト運動推進委員会提言に対する各委員会の取り組みについて

■政策委員会の設置について

11月1日(水)に開催された理事会において、理事会の下に「スカウト運動推進に関する検討課題のフォローアップ・支援推進を主たる任務」とする政策委員会の設置が承認されました。委員の構成は以下の方々です。

委員長 古賀正一 (副理事長)
委員 上島真一郎 (常務理事)
委員 鈴木国夫 (理事)
委員 篠田常生 (教育本部副コミッショナー)
委員 新藤信夫 (評議員)

■23WSJ招致促進部会の開催(報告)

日時:11月9日(木) 18:00~21:00
場所:東京・中央区「京橋プラザ」
出席:鈴木国夫部長他4人
23WSJ日本招致委員会の下に編成された「招致促進部会」の第1回会議が開催されました。この部会では、23WSJ日本招致に向けて、世界各国の日本に対する関心を高めるための事業を企画するとともに、その展開に日本国内の様々な方々が参画できるようにすることを目標にすることを確認しました。さらに、様々な意見・アイデアを交換し、この中ですぐに実施可能なことについては速やかに対応していくこととしました。

■世界スカウト運動100周年記念

■平成19年度全国大会実行委員会(第4回)の開催(報告)

日時:11月16日(木) 14:00~16:30
場所:東京・日本工業倶楽部
出席:橋本委員長他5人、参席1人
協議事項:1. 全国大会実施内容、日程、会場使用計画について
2. 記念レセプションの実施内容について
3. 実行委員会組織、ならびに大会運営組織について
4. 今後の準備日程について

■平成18年度全国事務局長会議の開催(報告)

日時:11月25日(土) 13:00~26日(日) 11:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
参加者:43都道府県連盟事務局長または代理人、参席1人
日本連盟:古賀・廣瀬副理事長、上島常務理事、金井事務局長他
議事:1. 日本連盟からの報告
2. 日本連盟各グループからの業務報告および連絡事項
3. スカウト運動推進委員会からの提言について
4. 第23回世界スカウトジャンボリー招致について

5. 分科会(県連盟運営における事務局長の役割について)
6. 全体会(各分科会からの報告)
7. 質疑応答、意見交換

■ボーイスカウト振興国会議員連盟総会の開催(報告)

日時:12月6日(水)8:30~9:15
 場所:東京・ホテルニューオータニ「麗の間」
 出席:齊藤斗志二会長、逢沢一郎副会長、中曾根弘文副会長、塩谷立事務局長他本人出席49人、代理60人
 参加:＜文部科学省＞
 樋口スポーツ・青少年局長他3人
 ＜外務省＞
 津川大臣官房文化交流部・人物交流室長他1人
 ＜ボーイスカウト日本連盟＞
 橋本理事長他7人
 議事:1.開会挨拶 齊藤斗志二会長
 2.財団法人ボーイスカウト日本連盟挨拶 橋本綱夫理事長
 3.表彰 功労章「たか草」が鈴木恒夫衆議院議員および古屋圭司衆議院議員に贈呈されました。
 4.ボーイスカウト日本連盟平成19年度主要事業について
 5.第23回世界スカウトジャンボリー(2015年)の日本開催招致について

- 【新潟】 樋口政文、井上法英、中田計事務所(医)仁成とやの中央病院(医)恒仁会新潟南病院(株)澤井組(株)大阪屋新潟県護国神社アドバンエッジ(株)応用電業社(株)第一印刷所酒井忠正三條常一郎新潟県神社庁ナミックス(株)遠藤製作所(株)ブルボン佐藤英行五十嵐皓太第一建設工業(株)大谷商会(株)新潟日報社(株)北都
 【富山】 福山 暁人
 【石川】 村山和光中出修BS石川13岡本弘志本川啓二郎高村昌克
 【福井】 高見俊和
 【長野】 丸山正一
 【岐阜】 (財)日本BS岐阜県連盟安田勝BS美濃加茂1水野ひさえ
 【静岡】 山中洋一畑中勉塩谷立石神伊佐男
 【愛知】 竹久良允佐藤陽次平沢達也伊藤孝尾BS岡崎10小沢清勝
 【滋賀】 中野幸彦小森悦男
 【京都】 赤井啓二前田健世西村伸次
 【兵庫】 武貞健治堤正植木保久安井照夫田中保夫
 【奈良】 野口桂一郎
 【和歌山】 榊史郎内田成高大岡正斉土橋弘
 【大阪】 三島克己阪田勉大阪スカウトクラブBS東大阪4
 【鳥取】 鹿島 一郎
 【島根】 岡野 義則
 【広島】 猪野 明雄酒井 幸雄
 【山口】 小島 道雄
 【香川】 松平 頼武細井 俊道
 【福岡】 森奥 征年熊本 幸雄
 【沖縄】 黒木 潤一郎矢野 昌義村永 盛哉
 【日本】 久野 桂セイコー(株)日本ソーティアック(株)柳 茂久内藤 順敬本田技研工業(株)天鷲 良雄大吉 淳一



ラリー優勝と3位班だよ！イェーイ！



かわいい手旗！



ベンチャーがカブヘキャンプサイトを説明

今月の会議・行事

- 17(水) 臨時理事会 東京・尚友会館
 19(金)~20(土) 教育本部コミッショナー会議 東京・NYC
 20(土)~21(日) 県連盟コミッショナー会議 東京・NYC
 22(月) 全国大会実行委員会 東京・日本工業倶楽部
 23(火) 傷害共済運営委員会 東京・八重洲倶楽部
 27(土) 臨時評議員会 東京・NYC
 27(土)~28(日) 平成19年度ウッドパッジ実修所所長・主任所員会議 東京・NYC

ご支援ありがとうございます

*維持会員(敬称略) スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

2006年度10月度

- | | | |
|--|--|---|
| 【北海道】
三浦 武
BS留萌1
BS帯広7育成会
榎井 二三夫
BS釧路地区協議会
(南)カッティングクラブ
前田 和道 | 【福島】
BS・GS振興
県会議員懇談会
【茨城】
宇佐美 力士
清水 正人
八城 健彰
【群馬】
福垣 稔
西牧 秀美
河内 正典
國時 武
【埼玉】
戸部 恵一
武藤 敦
島田 重夫 | 【千葉】
古賀 正一
青木 勇
山下 博行
名鉄観光サービス(株)
千葉支店
【神奈川】
矢島 巖
逢坂 伸一
【山梨】
新田 雅弘
【東京】
東 政和
津守 勝男
荒井 俊雄
岩崎 健三 |
|--|--|---|

ローカルホットライン

.....団
.....地区
.....都道府県連盟
.....その他

HOT
 CALLINE

行事報告
 活動報告
 ...etc

団・地区・都道府県連盟だより

神奈川

- 「飛び出せ はまっ子 海かぜウォーク」
 「横浜みなと地区ラリー」
 横浜第122団 ベンチャー隊隊長 立石 憲彰

11月5日(日)に「ボーイスカウト 横浜みなと地区」では、横浜市青少年育成補助事業との共催で「地区ラリー」を、快晴の中行いました。

- 「飛び出せ はまっ子 海かぜウォーク」「横浜みなと地区ラリー」の概要
 日時:11月5日(日) 10:30~15:00
 参加費:無料(一般の方)
 会場:横浜・山下公園一帯
 主催:日本ボーイスカウト神奈川連盟 横浜みなと地区 横浜市青少年育成補助事業

プログラム:
 ビーバースカウト
 <ビンゴde海風ウォーク、ジャングル探検隊、アポリジニに変身、ビーバーオリンピック、王様の宝を探せ、こま回し世界→>
 カブスカウト
 <ボールスターとサザンクロス、ブラウンシー島の冒険、yosaku in CANADA、モンゴルゴルフ、ベリーダンスカーニバル、ケニアで動物観察、オーストラリアラリー、大きなパズル>
 ボーイスカウト
 <救急、計測、通信、結索、観察、読図>
 ベンチャースカウト
 <スカウトキャンプのテントサイトの再現展示、野営工作・ロープワーク等の実演でPR>

秋田

■ 韓国坡州市大院小学校と交流

秋田第33団 ベンチャー隊長 小玉 武

アニョハセヨ

ボーイスカウト秋田連盟のスカウトたちが、日本連盟の特別許可をいただき、8月17日～21日の日程で、韓国坡州市大院小学校のカブスカウトとの交流会を韓国で行いました(団長 武田勝男)。

この交流会は、2年前大院小学校の小学生が来秋したことが縁で実現しました。秋田からは、スカウト19人、指導者9人の計28人が参加し、天候にも恵まれ意義のある楽しい交流となりました。

期間中、スカウトたちは、韓国ボーイスカウト連盟の表敬訪問や大院小学校との交流会、ホームステイ、文化遺産見学等貴重な体験をしました。大院小学校との交流会では、両国の伝統的な踊り(秋田からは秋田音頭)の披露、日本の遊び紹介、第三トンネル見学等で友情を深めました。また、ホームステイでは、片言のハンゲルを使いながら食事や家族との会話、サッカーや野球、ゲーム、ソウル市内での買い物等一泊でありましたが、韓国の家族や家庭の雰囲気を十分味わいました。大院小学校を去るときには、涙を流しながら別れるスカウトもあり、全員満了した交流会やホームステイとなりました。参加したスカウトからは、「絶対にまた、韓国での交流会へ参加したい」「いろいろな国のスカウトと交流したい」「日本を再確認できた」といった感想や、指導者からは、「今回の交流の感動や体験を忘れないでほしい」「日本や秋田のことを理解するきっかけになればよい」「どんどん海外に出て行って活躍してもらいたい」など、21世紀を担う秋田のスカウトたちに期待する声が聞かれました。

最後に、この交流会を特別承認として許可して下さった日本連盟、そして秋田県に対して感謝申し上げますとともに、今後も大院小学校との交流が定期的に続くことを願っています。



兵庫

□ 運動会でパレードしました

小野第1団 カブ隊長 中村 圭一

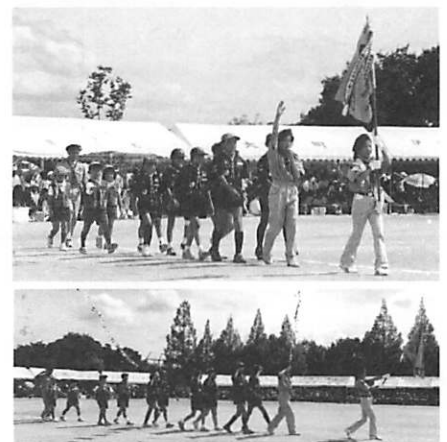
自分たちの通学する小学校の運動会で、スポーツ少年団の仲間たちといっしょに、グラウンド一周のパレードをしました。

始めて5～6年になりますが、きっかけは「ぼく(私)たちも、少年野球やバレーをやっている子たちといっしょに、パレードに出させてください」と隊員たちが学校の先生に申し入れをして、そのあとその子たちのデンリーダールさんが、活動の趣旨を校長先生に説明してくれました。

子どもたちの熱意を理解してもらい、代々引き継いでパレードをさせていただいています。

パレード中の紹介アナウンスは、デンリーダールさんが原稿をつくり、本人や隊員が朗読します。今年は、3つの小学校でビーバー、カブ、ボーイの隊員たちは元気よく、胸を張ってパレードしてくれました。その結果、さっそく入りたい、という子どもの問い合わせもありました。

ご理解をいただいている学校の先生方や、PTAの方々に感謝しています。

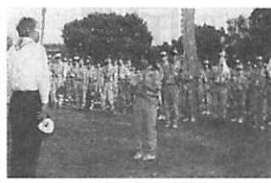


岡山

■ 新聞に載りました

岡山連盟

が参加。門野八洲雄県教育長が「10年の訓練の成果を存分に発揮し、大勢の仲間とともに有意義な大会にしてください」とあいさつした。



ボーイスカウト 全国派遣団壮行 県総合ラウンド 全国のボーイスカウト が集い四年に一度開催される国内最大の野営大会「日本ジャンボリー」(三十一日、石川県)に出場する日本ボーイスカウト岡山連盟派遣団の壮行式が二日、岡山市いずみ町の県総合ラウンドで行われた。写真。岡山や倉敷市などの中

敷第十六団に所属する吉川泰博君(四十一)金光学園



写真。ボーイスカウトと指導者ら約五十人が参加。倉

敷第十六団に所属する吉川泰博君(四十一)金光学園

地区代表壮行式 四年に一度開かれる国際キャンプ大会「第十四回日本ジャンボリー」(三十一日、石川県)に出場する日本ボーイスカウト岡山連盟第二地区(倉敷、玉野、総社市)代表団の壮行式が二日、倉敷市役所で開かれた。



い」と決意を述べた後、参加者全員で、ボーイスカウト独自の掛け声「いやさか」を三唱し、氣勢を上げた。日本ジャンボリーは、海外からのスカウトを含め二万二千人が出場。キャンプ生活や野外体験を通じて交流を深める。(平野裕久)

山陽新聞(2006.8.3)

中三年が「倉敷の代表として活躍し、国内外のボーイスカウト仲間と交流してきます」と意気込みを述べた。日本ジャンボリーには、国内外のボーイスカウトら約二万二千人が参加。野外活動などを通じて親ほくを深め合う。

山陽新聞(2006.8.3)

● 発団35周年式典

豊川第4団
団委員長 三宅 耕一



東愛知新聞 (2006.10.23)

35周年の節目に飛躍誓う

ボーイスカウト豊川第4団

式典で育成会員らに感謝状

日本ボーイスカウト愛知連盟ボーイスカウト豊川第4団(三宅耕一委員長)の発団35周年式典が22日、豊川市国府市民館で開かれ、隊員らは団の一層の飛躍を誓った。同団は1971(昭和46)年9月に発足し、豊川

地区で3番目に誕生。隊員は国府、御油、御津、音羽地区の園児から大学生、大人まで67人。年代別に団体行動や自立、奉仕などを学ぶ活動をしている。式典には、隊員や育成会員、来賓ら約70人が出席。三宅委員長は発団当時の思い出を紹介し、「この35年間で日本は大きく変わったが、明日を担う子どもたちを思うスカウトの精神は変わっていない。次の40周年に向け、さらなる飛躍を心に誓う」とあいさつした。

来賓からは「活動を通して、心も体もたくましくなってきた」と「友情を築いて」となど、隊員を激励する祝辞が相次いだ。式典では、同団のために尽くした育成会員や学校に感謝状も贈られた。

(中村晋也)



約70人が出席して開かれた35周年記念式典＝豊川市国府市民館で

読者の「声」

～12月号の記事について～

●第23回世界ジャンボリーを日本で開催しよう!

◇内容もわかりやすくよいと思いますが、1月号のほうが入力が強かったのでは?年の初めに大きなイベントの案内をするほうが気持ちがいいかなと思います。

●傷害共済制度早わかりガイドブック

◇紹介されているシステムをまったく知らなかったで、役に立ちそうです。
◇団単位の申し込み、追加登録の問題、転団スカウトの問題、登録との関係、保険料振込日時と効力発生日の差等々の問題があると聞いています。それらが2月号で解決されればいいのですが。

●隊活動のヒント

◇星座に関する活動は地味になってしまうことが多いので、これは面白そうだと思います。夜に行えるプログラムという点も良いのではないのでしょうか。

●活動自慢コンテスト

◇少子化の島の伝統行事を絶やさないようにという活動、努力、そして継続。すばらしいことですね。
◇地域の活動にボーイスカウトが積極的に参加している具体的な事例として興味をもちました。スカウトによる計画書もなかなかよく書けてるようでした。
◇地方のVS隊の活躍に拍手を送りたい。このような記事を多く取り入れてほしい。
◇プロジェクトの内容がHPなどで見られるといいですね。

●隊長への手紙

◇「給食費を払っているのだからいただきますなんて言わせるな」という親がいるという、なんともすごい時代です。そんなときに身近な例をとり、また忘れられかけている習慣を例にして大変よい内容だと思えます。

●スカウトの日報告

◇多くの例が出てよいと思います。感想が出たのもよい。ちょっと違う活動の例などもっとあると、次年度の取り組みに参考になると思えます。

●裏表紙

◇スカウトのちかいは3つあるのに「ひとつのちかい」とは?という疑問を解く記事を掲載してください。

●その他フリートーク

◇スカウト用品で購入した100周年関連のピンバッジ類、すでにいくつか脱落・紛失してしまいました。良い品を製作してください。
◇もっとスカウト自体の活動を紹介してほしいです。普段の団の活動と、紹介されているような活動が離れているように感じることがあります。

☑今月号は誌面に余裕がなく、だいぶ絞り込んだコメント掲載にさせていただきました。次号からも引き続き掲載していきますのでどうぞ投稿をお願いします。

■皆さんの声をお寄せください。

目次頁記載の宛先まで、ハガキ、FAX、Eメールなど、お気軽にどうぞ。記事リクエストも歓迎。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。なお投稿者名は掲載していませんが、匿名での投稿はお受けしていません。☑



新春弥栄 2007



Scout Association of Japan

<p>日本連盟評議員 愛知連盟常任顧問</p> <p style="text-align: center;">石田 菊美</p>	<p>日本連盟相談役 世界スカウト財団理事 ベーデン・パウエル・ワールドフェロウシップ ジャパン・チャプター会長</p> <p style="text-align: center;">吉田 宏</p>	<p>賀正</p> <p>日本連盟評議員 愛知連盟副理事長</p> <p style="text-align: center;">野村 正直</p>
<p>奉賀新年 2007年元旦</p> <p>東京連盟日黒第7団団委員 ボーイスカウト日本連盟参与 世界スカウト財団理事</p> <p style="text-align: center;">荒尾 雅也</p>	<p>日本連盟評議員 東京・中野スカウトクラブ会長 中野スカウト連絡会顧問</p> <p style="text-align: center;">田口 榮三</p> <p style="text-align: right;">〒352-0035 新座市栗原6-4-19 TEL 042-422-0306</p>	<p>スカウト運動100周年を記念し、 平和を考え、行動しよう。</p> <p style="text-align: center;">杉原 正</p> <p>財団法人 ボーイスカウト日本連盟 理事 社団法人 中央青少年団体連絡協議会 副会長 社団法人 青少年育成国民会議 副会長</p>
<p>世界スカウト運動100周年おめでとう</p> <p>日本連盟理事 ボーイスカウト福岡県連盟副連盟長</p> <p style="text-align: center;">阿部 道生</p> <p style="text-align: right;">〒811-2501 福岡県粕屋郡久山町久原1096-2 TEL 092-976-0014</p>	<p>前世界スカウト委員</p> <p style="text-align: center;">鈴木 武道</p> <p style="text-align: right;">〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町1098 E-mail tsuzuki@world.scout.org</p>	<p>新春弥栄</p> <p>ボーイスカウト愛知連盟名古屋緑地区</p> <p style="text-align: center;">伊藤 隆</p> <p style="text-align: right;">〒467-0056 名古屋市瑞穂区白砂町2-61-4 TEL&FAX 052-832-4888 E-mail marubun@carrot.ocn.ne.jp</p>
<p>謹賀新年 弥栄 今年も健康、安全、奉仕で頑張ろう</p> <p>B-P精究グループ 山下 栄</p> <p style="text-align: right;">〒710-0131 岡山県倉敷市天城台1丁目3-16 TEL&FAX 086-429-2768</p>	<p>ボーイスカウト大阪連盟参与 大阪・泉州スカウトクラブ会員</p> <p style="text-align: center;">佐藤 祐弘</p> <p style="text-align: right;">〒590-0144 堺市南区赤坂台2-5-1</p>	<p>昭和23年、仮加盟登録以来 伝統を誇る《横浜第3団》 (曹洞宗 大本山總持寺内)</p> <p style="text-align: center;">武井 重利</p>
<p style="text-align: center;">スカウト運動を推進しよう</p> <p style="text-align: center;">相談役 郷家 照夫 会長 和田 伸幸 副会長 雲津 忠宣 監事 工藤 信行 事務局 岩手連盟内</p> <p style="text-align: center;">福島連盟 山形県連盟 秋田連盟 宮城県連盟 岩手連盟 青森県連盟 北海道連盟</p> <p style="text-align: right;">北海道・東北ブロック協議会</p>		<p>日本ボーイスカウト北海道連盟</p> <p>連盟長 高橋 はるみ 副連盟長 小笠原 清行 理事長 雲津 忠宣 副理事長 富川 俊則 〃 富岡 正彦 〃 扇間 康弘 県連盟コーディネーター 扇間 康弘 事務局長 入部 道之</p>

おかげさまで50周年!
ボーイスカウト青森県連盟

連盟長 三村 申 吾
副連盟長 芝田 吉 吾
理事長 葛西 堯

ボーイスカウト秋田連盟

連盟長 寺田 典 城
副連盟長 菊谷 坂 一
〃 〃 純
〃 〃 尚
理事長 安田 孝 人
副理事長 佐々木 耕 二
〃 〃 妻 正 順
〃 〃 藤 太 郎
県連盟コミッショナー 成田 清 彦
県連盟副コミッショナー 大高 橋 順
〃 〃 佐川 芳 子
事務局長 桑原 勝 治

Mastery for Service

関西学院スカウトクラブが発足しました。
OB・OG各位の参加登録を待っています。
関学ローパスも復活しました。よろしく!!



K.G.S.C
K.G.Rovers

会長 三木 康彦
副会長 山田 明良
副会長 上道 小太郎
幹事長 上野 智基
RS会長 島原 浩平

■お問い合わせは E-mail. kgrovers@gmail.com
または Tel. 0798-63-9111(上野)まで

謹賀新年

東京千代田第3団ローバー隊
中央大学ローバークルー

団委員長 矢部 浩 祥
副団委員長 白井 満
育成会長 新藤 腆
隊長 小山 浩 伸

今春入学される新1年生の入隊を歓迎します
ホームページ <http://scout.ne.jp/chuo/>

ボーイスカウト岩手連盟

連盟長 増田 寛 也
副連盟長 小田島 實 幸
〃 〃 和 伸 幸
理事長 上田 有 三
副理事長 奥田 新 一
〃 〃 内 宮 眞
県連盟コミッショナー 末永 正 志
財団法人ボーイスカウト岩手連盟維持財団
理事長 小田島 實

ボーイスカウト福島連盟

副連盟長・先達 赤城 良 一
県連先達 鈴木 木 信 夫
理事長 工藤 信 行
副理事長 江尻 陽 二
〃 〃 加藤 洋 文
県連盟コミッショナー 安斎 精 児
事務局長 星 滋
事務局次長 丹 治 道
事務局職員 小野 三 千

財団法人ボーイスカウト福島連盟維持財団

理事長 原 正 夫
常務理事 原 憲 昭
理事 笠原 榮 介
〃 〃 宮森 喜 助
〃 〃 小湯 澤 義 亮
〃 〃 江尻 陽 二
〃 〃 加藤 洋 文
監事 赤城 良 一
〃 〃 工藤 信 行

日本大学スカウト研究会
OB・OG会

会長 酒井 利 行
卒業生一同

<http://www.rivo.mediatti.net/~taizou/>
TEL & FAX 03-3404-0040 武山富士子

ボーイスカウト宮城県連盟

連盟長 村井 嘉 浩
副連盟長 佐々木 重 兵衛
〃 〃 鈴木 久 直
〃 〃 郷木 家 照 夫
理事長 千田 好 男
副理事長 郷田 家 智 道
〃 〃 芳賀 文 蔵
〃 〃 大久保 孝 博
県連盟コミッショナー 千 葉 義 博

ボーイスカウト運動創始100周年彌栄
日本オールドスカウトクラブ
設立50周年記念祝祭開催! 御来会を待つ

相談役 森田 晃 次
〃 〃 浦田 太 一
〃 〃 高木 義 之
〃 〃 高渡 木 章
〃 〃 青木 辺 茂
世話人代表 武井 正 光
50周年事業 吉田 謙
実行委員長 佐藤 満
世話人監事 今津 道 子
世話人 伊藤 栄 三
〃 〃 武井 山 利
〃 〃 村山 重 至
〃 〃 渡邊 宗 男

連絡先 神奈川県大和市草柳2-22-17
電話 046-262-1054 武井正光方

恭賀新年 14NJではお世話になりました
日本の皆様 台湾へお出で下さい

台湾派遣団 陳 樹 堅

台湾 台中県太平市立功路85号9F
TEL&FAX 886-4-2395-3700
携帯電話 886-958-379909

旧年 14NJ参加、隊創立75周年記念行事

本年 BS運動100周年にFIGHT!!

お互いに良き年を、迎えましょう。

ボーイスカウトアメリカ連盟
ロサンゼルス第379隊



謹賀新年

世界スカウト運動100周年おめでとう

日本スカウトロータリアン

会長 鬼塚 喜八郎 (神戸ロータリークラブ) 理事 郷家 照 夫 (宮城・塩釜ロータリークラブ)
副会長 上 島 真一郎 (東京銀座ロータリークラブ) 〃 佐野 友 保 (神奈川・秦野中ロータリークラブ)
〃 松 平 頼 武 (東京北ロータリークラブ) 〃 戸 高 有 基 (大分・津久見ロータリークラブ)
理事 犬 飼 康 元 (長野・松本ロータリークラブ) 〃 和 田 伸 幸 (岩手・大槌ロータリークラブ)



日本ボーイスカウト茨城県連盟

事務局 〒310-0034 水戸市緑町1丁目1-18 茨城県立青少年会館3F
TEL 029-226-8482 FAX 029-224-3773

名譽連盟長 橋 本 昌夫
連盟長 關 正 夫
副連盟長 橋 本 千代寿
〃 川 又 光 男
〃 佐 野 英 樹
先 達 刈 部 操
理 事 長 竹 本 俊 一
副 理 事 長 山 田 隆 一
〃 津 久 井 一 茂
常 任 理 事 戸 館 木 善 敬
理 事 八 木 二 薫
〃 横 山 正 夫
〃 石 塚 城 下 健 喜
〃 八 木 下 澤 久 敏
〃 井 川 川 勲
学 識 経 験 理 事 吉 富 田 光 俊
〃 吉 田 仁
県 連 盟 コ ー シ ャ ナ 八 木 田 雄 二
事 務 局 長 八 木 田 雄 二

財団法人日本ボーイスカウト茨城県連盟維持財団

理 事 長 立 原 久
副 理 事 長 橋 本 千代寿
常 務 理 事 白 石 陽 一

**祝 スカウト運動100周年
おかげさまで長野県連盟創立60周年**

連盟長代行 酒 井 博
副連盟長 田 中 恒 治
〃 石 川 一 登
理 事 長 犬 飼 康 元
副 理 事 長 黒 西 木 尾 一
〃 熊 尾 谷 生 輝
〃 赤 出 廣 田 正 三 行
県 連 盟 コ ー シ ャ ナ 赤 出 廣 田 正 三 行
事 務 局 長 赤 出 廣 田 正 三 行

ボーイスカウト栃木県連盟

連 盟 長 一 男 範 男
副 連 盟 長 富 幸 昭 幸
〃 田 間 臣 藤 山 政 雄
〃 福 平 中 齋 森 押 星 相 亀 野 馬 田 二 柳
理 事 長 富 幸 昭 幸
副 理 事 長 一 好 典 啓 永
〃 田 間 臣 藤 山 政 雄
県 連 盟 コ ー シ ャ ナ 富 幸 昭 幸
事 務 局 長 一 好 典 啓 永

ボーイスカウト千葉県連盟

連 盟 長 守 之 介 夫 夫 一
理 事 長 茂 鈴 増 星
副 理 事 長 木 木 田 国 秀 淳
事 務 局 長 茂 鈴 増 星
財 団 法 人 ボ ー イ ス カ ウ ト 千 葉 県 連 盟 維 持 財 団
理 事 長 儀 巳 二 夫 芳
常 任 理 事 吉 佐 高 中 舟
〃 成 藤 橋 川 橋
〃 正 昭 義 弘
理 事 事 務 局 長 儀 巳 二 夫 芳

千葉県エバグリーンスカウターズクラブ

代 表 世 話 人 西 出 川 功 郎
副 代 表 世 話 人 小 島 三 孝 典
〃 早 坂 之 男
事 務 局 長 早 坂 之 男

日本ボーイスカウト福井連盟

連 盟 長 誠 雄 治 昌 三 彦 和 介 男 明 二
名 譽 連 盟 長 一 幸 正 廣 彰 邦 俊 義 忠 宏 昭
副 連 盟 長 川 田 藤 中 倉 澤 見 藤 川 裏 嶋
〃 西 栗 西 田 勝 平 高 内 齋 辻 藤
〃 西 栗 西 田 勝 平 高 内 齋 辻 藤
理 事 長 西 栗 西 田 勝 平 高 内 齋 辻 藤
副 理 事 長 西 栗 西 田 勝 平 高 内 齋 辻 藤
〃 西 栗 西 田 勝 平 高 内 齋 辻 藤
県 連 盟 コ ー シ ャ ナ 西 栗 西 田 勝 平 高 内 齋 辻 藤
事 務 局 長 西 栗 西 田 勝 平 高 内 齋 辻 藤
財 団 法 人 ボ ー イ ス カ ウ ト 福 井 県 連 盟 維 持 財 団
理 事 長 山 崎 幸 雄 生
専 務 理 事 山 崎 幸 雄 生

ボーイスカウト群馬県連盟

連 盟 長 小 寺 弘 之
副 連 盟 長 新 藤 信 夫
〃 新 金 井 英 文
理 事 長 稲 垣 稔 介
副 理 事 長 今 井 健 介
〃 松 井 隆 雄
〃 田 子 忠 雄
県 連 盟 コ ー シ ャ ナ 江 原 一 郎
事 務 局 長 中 澤 一 範
財 団 法 人 群 馬 県 ボ ー イ ス カ ウ ト 振 興 財 団
理 事 長 新 藤 信 夫
副 理 事 長 金 井 英 文
〃 稲 垣 稔 介

**夢!冒険!笑顔!いっぱい ボーイスカウト
日本ボーイスカウト山梨連盟**

連 盟 長 山 本 栄 彦
理 事 長 山 岸 一 正 一 利 一 辰 雅
副 理 事 長 鍋 谷 辺 水 川 塚 田 澤 野
理 事 渡 清 古 大 新 中 河 臺 日 下 部 辺 上 賀 武
〃 渡 清 古 大 新 中 河 臺 日 下 部 辺 上 賀 武
〃 渡 清 古 大 新 中 河 臺 日 下 部 辺 上 賀 武
県 連 盟 コ ー シ ャ ナ 渡 清 古 大 新 中 河 臺 日 下 部 辺 上 賀 武
総 務 委 員 長 アダプトリソース 委 員 長 プログラム 委 員 長 国 際 委 員 長 T.T.ディレクター 事 務 局 長 渡 清 古 大 新 中 河 臺 日 下 部 辺 上 賀 武

日本ボーイスカウト新潟連盟

連 盟 長 泉 田 裕 彦
理 事 長 金 井 澤 上 本 理 久 夫 英 学
副 理 事 長 泉 田 裕 彦
事 務 局 長 泉 田 裕 彦

日本ボーイスカウト埼玉県連盟

迎春弥栄

加藤和男	吉野一男	小川泰雄	井出清実	雨宮文範	千野俊一	金重一男	勝部紀一	嶋村正夫	長須賀康夫	三日月勝三	武藤敦	井上久雄	柳田秀一	河野正道	永山清	菊地英雄	渋谷昌彦	鈴木政義	相川宗一	上田清司
			副会長 長島敏雄	会長 川本宜彦	埼玉県育成会		事務局長 鈴木勝利	監事 木南信一			平林功	西山繁夫	小室馨一	護摩所顯		中牟田和彦	岩崎保夫	岩瀬隆央	鈴木勝利	牛山佳久
															星谷光市郎					

代表理事
副理事長
理事長
副連盟長
連盟長



ボーイスカウト富山県連盟

連盟長 石井隆一
理事長 川田啓雄

日本ボーイスカウト三重連盟

連盟長 野呂昭彦
副連盟長 安田敏彦
理事長 宇治土公貞祐
副理事長 森藤田川逸
監事 梅田中井伸英
副理事長 田川中井伸英

日本ボーイスカウト滋賀連盟

連盟長 嘉田由紀子
副連盟長 斎藤俊信
理事長 青地野本幸健
副理事長 中山時森西川育
監事 森西川育

日本ボーイスカウト岐阜県連盟

連盟長 古田肇
副連盟長 若太園輝
理事長 太川田田輝
副理事長 板津田田基
監事 板津田田敏
事務局長 安中村島明
(財)日本ボーイスカウト岐阜県連盟育成会
理事長 広瀬之彦
常務理事 高田英明

謹賀新年

日本ボーイスカウト静岡県連盟

連盟長 石川嘉延
副連盟長 川井祐一
理事長 佐藤勇男
副理事長 長澤節實
監事 鈴木木節子
小笠原四郎

謹賀新年 日本ボーイスカウト兵庫連盟

名譽連盟長 井貝原俊三
連盟長 日下孝明
副連盟長 山田知輝
理事長 山田明良
副理事長 長田八洲翁
監事 瓜田一夫
事務局長 武中苦長
理事 荒西完治
名越亮
石村武
川勝賢一
稀本佳嗣
新戸建男
田林和夫
倉本武司
樋口保之
吉川芳男
梅博美
横山隆史
理事 玉井鬼子雄
副理事長 植木中保夫
橋本浅男
川野四朗
左川弘治
長八洲翁
堤敏正
濑野敏彦
平池邦夫
木本雄大
高田和美
南倉鉄一
監事 南平榮一

(財)兵庫県ボーイスカウト振興財団

理事長 鬼塚八郎
常務理事 宇賀芳樹
事務局次長 濱田耕次
島村政

日本ボーイスカウト山口県連盟

連盟長 二井関成
理事長 市川野清
監事 松野清
事務局次長 池田信幸

日本ボーイスカウト神奈川連盟

事務局/〒241-0815 横浜市旭区中尾2丁目1番14号 TEL 045-365-3421 FAX 045-391-3422 E-mail bs-kngw@gray.plala.or.jp

迎春 弥 栄

										地区代表理事										理 事	副 理 事 長	理 事 長	連 盟 長																											
小	高	白	川	山	泉	木	宮	関	岩	堀	横	加	高	奥	中	武	坂	中	浜	笠	木	伊	佐	佐	松																									
林	橋	倉	島	中	村	崎	戸	波	内	須	賀	藤	森	谷	井	本	村	田	原	村	藤	藤	野	沢																										
敏	一	栄	義	保	喜	弘	俊	信	敬	健	茂	保	靖	俊	雅	良	耕	幸	安	友	成																													
彦	夫	太郎	功	夫	夫	久	一	男	夫	一	治	博	範	哲	治	典	健	雄	弘	典	三	夫	弘	保	文																									
																										維持団体事務局長 仲戸川	維持団体理事長 吉田	事務局次長 宮坂	事務局次長 園田	事務局次長 菊地	事務局次長 高橋	事務局次長 木村	事務局次長 武井	事務局次長 矢作	事務局次長 伊藤	事務局次長 上野	事務局次長 竹宮	事務局次長 今井	事務局次長 鶴飼	事務局次長 坂谷	事務局次長 松田	事務局次長 伊奈	事務局次長 岩瀬	事務局次長 酒井	事務局次長 河合	事務局次長 金子	事務局次長 山川	事務局次長 田下	事務局次長 吉原	事務局次長 中川
																										名譽役員 貞一	名譽役員 純	名譽役員 幸	名譽役員 勇	名譽役員 正	名譽役員 一	名譽役員 帝	名譽役員 田津	名譽役員 要	名譽役員 昭	名譽役員 成	名譽役員 忍	名譽役員 榮	名譽役員 繁	名譽役員 夫	名譽役員 晃	名譽役員 浩	名譽役員 人	名譽役員 彌	名譽役員 栄	名譽役員 文	名譽役員 一			

昨夏は第14回日本ジャンボリーへ全国からのご参加ありがとうございました!!
本年もよろしくお願いたします。



日本ボーイスカウト石川県連盟

										地区代表理事										理 事	副 理 事 長	理 事 長	副 連 盟 長	連 盟 長																							
竹	高	糠	上	松	松	林	米	山	浜	宮	改	宮	能	飯	大	福	池	若	荒	村	西	中	吉	正																							
園	村	川	村	田	本		澤	上	本	田	田	登	田	橋	島	田	杉	田	山	村	西	西	明	憲																							
昌	昌	正			浩	矩	卓	隆	茂	順	秀	敏	海	一	友	日	壽	幸	正	和		吉	正																								
治	克	規	洋	章	平	了	也	裕	樹	一	一	之	正	郎	啓	出	男	平	信	光	稔	明	憲																								
																									監 事 長 木 原	監 事 長 島	監 事 長 畑	監 事 長 中	監 事 長 押	監 事 長 森	監 事 長 刈	監 事 長 福	監 事 長 内	監 事 長 木	監 事 長 西	監 事 長 西	監 事 長 能	監 事 長 上	監 事 長 松	監 事 長 村	監 事 長 野	監 事 長 田	監 事 長 中	監 事 長 田	監 事 長 中	監 事 長 中	監 事 長 中
																									石川県連盟助成会 亮治	石川県連盟助成会 寛	石川県連盟助成会 治	石川県連盟助成会 源	石川県連盟助成会 政	石川県連盟助成会 博	石川県連盟助成会 耕	石川県連盟助成会 正	石川県連盟助成会 和	石川県連盟助成会 憲	石川県連盟助成会 信	石川県連盟助成会 宏	石川県連盟助成会 繁	石川県連盟助成会 良	石川県連盟助成会 久	石川県連盟助成会 栄	石川県連盟助成会 三	石川県連盟助成会 勝	石川県連盟助成会 清	石川県連盟助成会 宗	石川県連盟助成会 信		

県連事務局
〒920-1096
金沢市広坂2-1-11
石川県広坂庁舎1号館

日本ボーイスカウト愛知連盟

事務局 / 〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目50番地 愛知県白壁庁舎4階 TEL 052-972-6281 FAX 052-972-6283 E-mail office@scout-aichi.or.jp

連盟長
副連盟長
最高顧問
常任顧問
先達
理事
副理事
理事

神松宇濱高石近小鈴谷岡野伊武林山片波大加水平水加波片山林武伊野岡谷鈴小近石高濱宇松神
之松藤田橋中野原田
内野部崎鳥田原藤川林江平藤藤澤野納原野桐本 田藤村谷口木原藤田橋中野原田
藤善武正 莊 和保泰昭 益 達忠康和俊 友敬正智正篤政了弥 菊正 真武真
一美行昭勉治昇男夫陸憲隆美隆也嗣昭生彦博秋順典是直一吉正介哲美蔵勲之久秋

理事
監事
事務局長
名譽会議員
名譽シニア
名譽シニア

渡柳津 小柳津 梅田 船橋 浅野 石原 氏家 水谷 宇美 永井 鈴木 大前 蟹江 生田 北條 小栗 古木 安田 恒川 関本 山田 榎本 中村 新井 花井 北川 藤井 今村 山崎 佐藤 山崎 齋藤 浅山 井村 藤井 裕公 重友 勇卓 吉隆 逸倫 孝真 真清 武啓 宏寿 亮須 頼市 惠邦 富武 鐸克 光
己叡一房一司朗久彦夫之治一人美司介次文俊美正男淳一至政雄雄夫己糺雄

ボーイスカウト和歌山連盟

連盟長
副連盟長
理事
副理事
先達
理事
副理事
理事
事務局長
名譽会議員
監事
名譽シニア
名譽シニア

駒井 史則 榎本 一史 山本 耕一 北畑 征 向井 高 塚本 守 鎌田 富士夫 仙石 康 伊藤 承 伊藤 照 井脇 一 井脇 英 平野 野 横田 達 安達 横田 安達 堤達 加藤 隆 遠藤 千 松岡 訓 竹内 脩 岩谷 静 上野 健 奥田 雅 晴

日本ボーイスカウト広島県連盟
連盟長 多田公熙
副連盟長 甲充
木村廣男
脇川喜久雄
理事長 酒井幸雄
副理事長 角山肇
事務局長 阿部芳行

日本ボーイスカウト長崎県連盟
連盟長 金子原二郎
理事長 江崎辰男
副理事長 岩本正広
事務局長 秋田浩

日本ボーイスカウト宮崎連盟
連盟長 安藤忠恕
理事長 塩見一郎

2007年 迎春
ボーイスカウト大分県連盟
連盟長 広瀬勝貞
副連盟長 橋本量太郎
理事長 戸高有基
副理事長 板井清明
副理事長 芳山清憲
副理事長 内田日出男
事務局長 阿崎南勝浩
國康

日本ボーイスカウト京都連盟

連盟長	山田啓	二裕
副連盟長	羽生田寂	裕傳
理事長	柳澤原	洋也
副理事長	福長谷	生治之郎
〃	篠横寺岡	男朗次
〃	種津西	樹隆弘
〃	高松西	夫世郎
〃	前田辻	伸一
〃	奥吉津	繁郎
〃	石堀高井	造武優
〃	稲長谷	尚二
〃	久浅鈴	晋郎彦
監事	幸眞	史
事務局長	榮勝	治

パトロールリーダーハンドブック好評発売中
お申込は 京都連盟事務局まで (FAX 075-662-8803)

謹賀新年
愛媛県連盟 松山第25団

育成会長	世良謙介
副育成会長	櫻本雅彦
団委員長	須山淳一
副団委員長	清水茂良
後援会会長	胡田隈

役員・団委員・指導者一同

財団法人 京都ボーイスカウト振興会

特別顧問	千高	玄	室寛
理事長	羽生田	寂孝	裕雄
常務理事	大荒吉	禎忠	一嗣
〃	平北田	義哲	久郎
〃	川八柳	道通	雄夫
〃	小石	哲松	茂傳
〃			夫太郎

新春 弥 栄

日本ボーイスカウト愛媛県連盟

連盟長	関今	宏	成一
副連盟長	一渡	英正	士昭
〃	森菅	富和	朋夫
〃	木竹	孝永	幸三
〃	久矢	耕繼	二雄
〃	佐宮	咲公	平民
〃	宮田	公正	真弘
〃	田中	通	臣
〃	井		

(財)愛媛県スカウト運動維持財団

理事長	関友	宏成
常務理事	近規	

謹賀新年

徽章や記念品を大切にしよう
日本スカウティングメモリアリアクラブ

会長	富澤	準治
事務局長	宮戸	秀昭

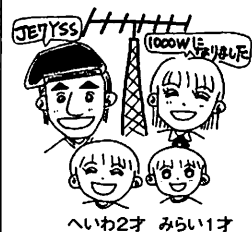
連絡先: jamman-j@beige.plala.or.jp 南波

日本ボーイスカウト奈良県連盟

名誉連盟長	柿的	本場	善太	也郎
顧問	滝樫	元根	太弘	武隆
先達	綿長	谷川	義正	祥彦
連盟長	小境	田戸	秀正	優寛
副連盟長	上城	井谷	裕重	寛禎
〃	増金	谷	賢行	雄司
〃	堀中	柴岡	和恒	進信
〃	高吉	中岩	輝甚	雄聡
〃	長高	東中	昌	夫造
〃	本上	岡細	勝成	均広
〃	前越	小甲	文正	男昭
〃	杉	崎	善	隆一
〃			惠	博司
〃			貞公	博久
〃				子枝
〃				弘

財団法人 奈良県ボーイスカウト振興会

理事長	山田	法胤
事務局長	宅盛	之



河津基 かわつもと
秋田(県)第33団カブ副団長
VR2SS@amsat.org
もと名古屋1団、三鷹3団
豊島5団、九電136団
ソウル505団(未登録)、
台北市346団、苗栗県1団
河津いづみ
ガールスカウト群馬県第4団
もと台北市346団

日本ボーイスカウト大阪連盟 役員一同

顧問(財)大阪ボーイスカウト振興協会会長) 小林公平
 相談役 松下正治
 連盟長 櫻井昭洗
 副連盟長 谷井昭雄
 理事長 椋本彦之
 副理事長 谷口修
 理事 樽谷進
 副理事 高橋恒雄
 膳師 膳澤信一
 馳澤信一
 永長慎一郎
 花木一夫
 丸山雄章
 河面久喜
 梅澤次男
 堀端達真
 久保田太郎
 吉岡正晴
 山原誠
 四宮政利
 加藤晋吾
 間下正司
 佐野敏行
 加納敏力
 小寺数夫
 竹本欣司

連盟長会議 組織委員長 指導者委員長 スカウト委員長 行事委員長 財政委員長 国際委員長 広報担当
 監事 広報担当
 県連盟副コミンショナー
 名譽会議員
 参 与
 トレーニングアドバイザー
 トレーニングアドバイザー
 トレーニングアドバイザー

石丸寛 川口宏 川口明 小川時 小川弘 松川修 松川造 瀨下康 瀨下匡 貝出有三 佐藤祐弘 星野信二 村瀬達明 林晴次 中村遼太郎 山口佳裕 佐藤俊夫 村田紘一 寺田末隆 城島正明 次田徹彦 伊東雅己 沖山昌昭 米田裕章 田中裕一 福本途子 村木順造 松西修明 大塚宗典 大塚正和 土橋淳男 赤塚廣之 丸谷登喜 宮本智喜 横山裕稔 福山雅之 杉山重美

大阪連盟(泉州南地区)貝塚第二団

育成会長	上井森	岡上	兼菊洋	千信一	代信二
団委員長	森紺	岡上	公	隆	郎
ビーバー隊長	紺守	谷口	徳憲	二	隆
カブ隊長	守浦	川下	憲	二	隆
ボーイ隊長	浦宮	川下	憲	二	隆
ベンチャー隊長	宮	川下	憲	二	隆
ローバー隊長	宮	川下	憲	二	隆

役員・団委員・指導者一同
 団本部 大阪府貝塚市堀1丁目9番8号
 ☎ 072-422-6133 FAX 072-422-6676

迎春

日本ボーイスカウト福岡県連盟

連盟長	麻生	渡生
副連盟長	阿熊	道幸
理事長	熊石	暢則
副理事長	石上	美功
地区委員長	保平	賢征
	中森	研昭
	平佐	元
	野見	
副コミンショナー	瀬松	
事務局長		

イイソーグアチデービル
 2007年 ユタシク ウニゲエ サビラ

沖縄スカウト・クラブ

会長	関幸阿	根喜波	喜直	助明孝
副会長	阿桑金	根江	直泰	幸良
会計	桑金	城嘉	盛	靖実
行務	名大	嶺平		助興
事務	宮久	高田	松唯	雄樹
査員	町西	平山	日出	二男
会	大与	古田	守勝	
			力	


団研大阪第1期の同期会をベースに創立16年目に入り、その間明日のスカウティングを探求し、昨年秋には第43回の会合を重ねる伝統ある会

星の王子会

会長	星山	野本	信和	二俊彦
役員	山椿	本本	安力	子郎
	山西	本野	昭啓	氏生
	佐川	木口	哲悦	子
	村	瀬		

株式会社オリエントコーポレーション

代表取締役社長 **上西郁夫**

 共立印刷株式会社

代表取締役社長 **篠原憲一**

1924～ 金光教スカウト協議会 ～2007

大正13年 金光教少年団創設

名 洋 総 裁	金 光 平 輝	総 裁	佐 藤 光 俊	会 長	小 林 互	副 会 長	木 村 広 男	理 事 長	阿 部 道 生	理 事 長	河 端 秀 次	副 理 事 長	三 木 宏	萬 野 信 一	金 光 善 行	湯 川 浩 一	近 藤 和 明	森 定 信 吉	堤 直 枝	木 村 幸 雄	安 部 昭 郎	山 崎 むつこ	胡 子 洋 美	河 端 優 子	森 奥 征 年
------------------	------------------	--------	------------------	--------	-------------	-------------	------------------	-------------	------------------	-------------	------------------	------------------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	------------------	------------------	---------------	------------------	------------------	------------------



監 事	山 室 順 一	相 談 役	山 田 実 雄	金 光 清 治	松 本 真 弘	佐 藤 友 彦	高 橋 好 輝	山 村 秀 忠	湯 川 正 夫	湯 川 壽 雄	木 原 光 信	吉 木 昭 弘	安 武 道 義	八 坂 朋 道	金 光 榮 理 雄	金 光 和 道	光 本 生 郎	上 島 真 郎	佐 藤 俊 夫	甲 斐 紀 成	津 田 秀 夫	篠 田 常 生
--------	------------------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

事務局／〒719-0111 岡山県浅口郡金光町大谷320 金光教本部教庁内 電話／0865-42-3111

大谷スカウト連合協議会

新春 弥 栄

祝 ボーイスカウト創始100周年

集え！大谷スカウト！！ 大谷スカウト連合協議会結成50周年記念野営大会

期日 2007年8月4日(土)～7日(火) 会場 新潟県上越市三の輪台いこいの広場

主 事	真宗大谷派宗務所教育部	会 計 監 査	生 滋 藤 高 春 粟 東 尾 齊 秋 石 原 照 辰 能 井 佐 巨 小 北 鬼 黒 秋 堀 北 片 大 井 石	委 員	常 任 委 員	副 委 員 長	委 員 長	参 与	顧 問	先 師
大 武 山 井 彰 英	山 井 亮 俊	生 滋 藤 高 春 粟 東 尾 齊 秋 石 原 照 辰 能 井 佐 巨 小 北 鬼 黒 秋 堀 北 片 大 井 石	田 賀 亮 俊	委 員	常 任 委 員	副 委 員 長	委 員 長	田 加 藤 森 鈴 大	顧 問	先 師
山 井 彰 英	山 井 亮 俊	生 滋 藤 高 春 粟 東 尾 齊 秋 石 原 照 辰 能 井 佐 巨 小 北 鬼 黒 秋 堀 北 片 大 井 石	田 賀 亮 俊	委 員	常 任 委 員	副 委 員 長	委 員 長	田 加 藤 森 鈴 大	顧 問	先 師
山 井 彰 英	山 井 亮 俊	生 滋 藤 高 春 粟 東 尾 齊 秋 石 原 照 辰 能 井 佐 巨 小 北 鬼 黒 秋 堀 北 片 大 井 石	田 賀 亮 俊	委 員	常 任 委 員	副 委 員 長	委 員 長	田 加 藤 森 鈴 大	顧 問	先 師

ボーイスカウト日本連盟 教育本部

(教育本部副コミッショナー)	伊藤 智是 (愛知)	(常設委員会委員長)	篠田 常生 (京都)	清水 利英 (山梨)	上道 小太郎 (大阪)	戸部 恵一 (埼玉)	渡邊 富昭 (愛媛)	有野 廣 (東京)	豊 秀昌彦 (宮崎)	西村 稔 (石川)	檀 上善夫 (愛知)	(特別委員会委員長)	西田 弘展 (広島)	逢坂 伸一 (神奈川)	(ブロック選出委員)	高橋 直克 (北海道)	山田 隆士 (茨城)	本間 隆 (奈良)	(全国選出委員)	小町 國市 (東京)	佐々木 美歌 (東京)	寺沢 真 (長野)	中野 まり (愛媛)
----------------	------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	-----------	------------	-----------	------------	------------	------------	-------------	------------	-------------	------------	-----------	----------	------------	-------------	-----------	------------

23 W S J 招致を成功させよう!

委員長
廣瀬 修
(副理事長)

副委員長
上島 真一郎
(常務理事)

副委員長
小林 孝之助
(事務局次長)

企画部会会長
檀上 善夫
(国際委員会委員長)

招致促進部会会長
鈴木 国夫
(理事)

海外プロモーション部会会長
新藤 信夫
(評議員)

国内支援部会会長
上島 真一郎
(常務理事)

会場選定部会会長
篠田 常生
(教育本部副コミッショナー)

広報部会会長
有野 廣
(広報委員会委員長)

世界スカウト運動創始100周年 弥栄!

委員長 上島 真一郎 (常務理事)
委員 久野 桂 (理事)
委員 鈴木 国夫 (理事)
委員 堀江 建治 (評議員)
委員 檀上 善夫 (教育本部委員)
委員 小町 國市 (教育本部委員)
委員 齋藤 達郎 (青年代表)

世界スカウト運動100周年
記念事業推進委員会

ボーイスカウト日本連盟

教育本部コミッショナー
伊藤 智 是 (愛知)
教育本部副コミッショナー
篠田 常 生 (京都)
清水 利 英 (山梨)

ボーイスカウト日本連盟

プログラム委員会

委員長 上道 小太郎 (教育本部大阪)

副委員長 真山 明夫 (東京)

委員 青木 勇 (千葉)

赤塚 廣之 (大阪)

安藤 正紀 (神奈川)

小林 透 (静岡)

佐々木 美歌 (教育本部東京)

鹿ノ内 美智子 (福井)

ユース特別委員会

委員長 逢坂 伸一 (教育本部神奈川)

副委員長 白川 雅之 (東京)

委員 伊藤 景如 (愛媛)

寺沢 真 (教育本部長野)

八尾 さと梨 (大阪)

ボーイスカウト日本連盟 トレーニング委員会

委員長 戸部 恵一 (教育本部埼玉)
副委員長 池 良弘 (新潟)
委員 井上 保 (東京)
久保田 太郎 (大阪)
中橋 邦 (宮城)
松本 安嘉 (奈良)

ボーイスカウト日本連盟 組織拡充委員会

委員長 渡邊 富昭 (教育本部愛媛)
委員 阿南 國康 (大分)
河内 正美 (群馬)
西村 伸次 (京都)
森屋 啓 (千葉)

ボーイスカウト日本連盟 広報委員会

委員長 有野 廣 (教育本部東京)
委員 佐々木 順久 (奈良)
中島 清行 (茨城)
島山 武司 (福岡)

スカウト運動の発展のために!!

ボーイスカウト日本連盟
スカウト運動推進委員会

委員長(理事)

和田 伸 幸

委員(常務理事)

上 島 真一郎

委員(理事)

鈴木 国 夫

委員(理事・教育本部コミッショナー)

伊 藤 智 是

委員(事務局次長)

小 林 孝之助

“安全は全てに優先する”

ボーイスカウト日本連盟安全委員会

委員長 豊 秀 昌 彦 (教育本部・宮崎)

委 員 岩 井 均 (奈良)

ゝ 葛 川 常 慶 (山口)

ゝ 渡 部 勝 司 (千葉)

ボーイスカウト日本連盟
イベント委員会

委員長 西 村 稔 (教育本部・石川)

委 員 家 田 伸 子 (愛知)

ゝ 菊 地 康 介 (千葉)

ゝ 高 橋 直 克 (北海道)

株式会社 博進企画印刷
博進エンジニアリング 株式会社

代表取締役 浅井 美 博

謹賀新年

Pacific Vision Corp.

パシフィックヴィジョン株式会社

代表取締役

笹 沢 明 宏

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-2 ラインコーボ箱崎401
TEL 03-5640-5888 / FAX 03-5640-5877

ボーイスカウト日本連盟
国際委員会

委員長 檀 上 善 夫 (教育本部・愛知)

副委員長 中 野 ま り (教育本部・愛媛)

委 員 岩 崎 広 志 (北海道)

ゝ 高 橋 譲 (宮城)

ゝ 中 野 充 (新潟)



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

理事長 橋 本 綱 夫

理 事 鈴木 国 夫

副理事長 古 賀 正 一

ゝ 谷 井 昭 雄

ゝ 廣 瀬 修

ゝ 中 村 芳 夫

常務理事 上 島 真一郎

ゝ 服 部 禮次郎

理 事 阿 部 道 生

ゝ 原 田 泳 幸

ゝ 市 川 熙

ゝ 松 平 頼 武

ゝ 伊 藤 智 是

ゝ 松 本 宏

ゝ 岡 谷 篤 一

ゝ 室 橋 幸三郎

ゝ 鬼 塚 喜八郎

ゝ 山 本 一 郎

ゝ 久 野 桂

ゝ 和 田 伸 幸

ゝ 斉 藤 斗志二

監 事 石 黒 武 雄

ゝ 椎 名 武 雄

ゝ 前 川 和 義

ゝ 白 井 堯 子

事 務 局 長 金 井 昭 二

ゝ 杉 原 正

ボーイスカウト日本連盟
アダルトリソース特別委員会

委員長 西 田 弘 展 (教育本部・広島)

委 員 杉 野 健一郎 (東京)

ゝ 鈴木 令 子 (神奈川)

ゝ 前 田 栄 子 (大阪)



日本ボーイスカウト
アマチュア無線クラブ
8J1S・8J100S運用中

会 長 松 平 頼 武

ラジオスカウティング インを開催(2007.2.3~4 高松市)

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10

TEL 0422(31)5161 FAX 0422(31)5162

E-mail saj@scout.or.jp URL http://www.scout.or.jp/

第34回 全国ボーイスカウト 写真コンテスト作品募集

全国ボーイスカウト写真コンテストも、今回で34回を数えることとなりました仲間と一緒にスカウト活動を楽しんでいる様子を写真に収めてご応募ください。たくさんのご応募、お待ちしております。

- テーマ
「ボーイスカウト」(スカウトはテーマ自由)
- 部門
「少年の部」・・・中学生以下
「青年・成人の部」・・・高校生以上
- サイズ
サービス判以上四つ切り以下
- 応募方法
写真の裏に応募用紙を貼って送ってください。
- 審査委員長
田沼武能氏(写真家)
- 主催
財団法人ボーイスカウト日本連盟
- 協賛
ペンタックス株式会社
- 発表
「スカウティング」誌5月号にカラーで掲載
(入賞者には直接通知します)
- 応募上の注意
 - ・応募作品は、2006年1月以降に撮影した未発表のもので、肖像権を有する人物および建築物など

- が写っている場合は、応募に際し本人(未成年の場合はその保護者)の承諾を得てください。なお、被写体となった方の個人を特定できないよう、名札類・団号章などの画像は処理加工を施す場合があります。
- ・応募作品は返却いたしません。
- ・データのみ応募は受け付けません。
- ・入賞作品は、ネガ(ポジ)フィルムやデータの提出をお願いします。
- ・応募作品は、入賞発表の他に日本連盟の印刷物等に掲載することがあります。
- ・応募作品の著作権は主催者に属します。
- 締め切り
平成19年2月28日(当日消印有効)
- 応募・問い合わせ先
財団法人ボーイスカウト日本連盟広報チーム
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5163
FAX 0422-31-5162
Eメール pr@scout.or.jp

投稿お待ちしております

本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念のキーホルダーをお送りしています。投稿は、文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名・掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。

お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。予めご了承ください。

たくさんのお投稿お待ちしております。

[宛先] 〒181-0015

東京都三鷹市大沢 4-11-10
財団法人ボーイスカウト日本連盟
広報チーム スカウティング投稿係
<TEL> 0422-31-5163
<FAX> 0422-31-5162
<Eメール> pr@scout.or.jp



応募用紙 ※点線で切り取って、写真の裏に貼ってお出ください(コピー可)。

第34回 全国ボーイスカウト写真コンテスト

タイトル			
(フリガナ)	年齢	性別 男・女	部門 少年・青年・成人
名前	作品についてのコメント		
住所 〒	都道府県	市区郡	歳
☎ ()			
スカウトの方は加盟員ナンバー	所属	第 団	役務

<最優秀賞品>

少年の部:
コンパクト双眼鏡



青年・成人の部:
防水コンパクトデジタルカメラ



第5回アジア太平洋地域 (APR) 写真コンテスト併催

日本連盟が所属するAPRでの写真コンテストが今年も開催されます。APRでの選考を経て、最終審査は日本連盟の写真コンテストと一緒に行われます。腕試しにいかがですか?

・様々なスカウト活動の場面、社会的な動きを示す写真等。デジタルの場合は300dpi程度。最大プリントサイズはA4判まで。スカウト、指導者が応募できます(各国連盟で受付)。

金賞1点、銀賞2点、銅賞3点にそれぞれ記念品が贈られ、2008年のAPRポスターに作品が使用されます。また、選外の6作品を加え、2008年のAPRカレンダーにも使用されます。

- ・応募作品は返却されず、その使用権はWOSMに属し、様々なイベント、出版物などで使用されます。
- ・応募: 右の応募用紙に英文で記入のうえ写真裏面に貼り付け、封筒表に「APR写真コンテスト」と大きく記載してください。送り先は日本連盟写真コンテストと同じです。

★日本連盟締め切りは2月10日とさせていただきます。

下段※の欄は日本連盟で記入します。

5th Asia-Pacific Scout Photo Contest 2007

ENTRY FORM

Title of Photo		
First Name	Middle Name	Family Name
Age	Gender	<input type="checkbox"/> Male <input type="checkbox"/> Female
Scout Section/ Position		
National Scout Organization (NSO)		
Endorsed by NSO representative (Print Name)	Signature	Date

※ Cut out or copy this form and paste on the back of each photo or send a soft copy to publications@worldnet-scout.org

SCOUTING

スカウティング
2007年1月号 No.644

CONTENTS

- 新年のご挨拶 100周年の年頭に寄せて・・・P.2～3
- 座談会 ボーイ隊の長期キャンプを見直してみよう!・・・P.4～9
- 2007年の事業スケジュール・・・P.10
- 平成19年度国際交流事業計画(案)・・・P.11
- 信仰心を育むために 神さまからの「ねがい」とご褒美・・・P.12
- おしらせ・読者のページ・・・P.13～16
- 新春名刺交換・・・P.17～27
- スカウトショップニュース・・・P.29
- 世界スカウト運動創始100周年
次の100年に向かって飛び立とう!・・・P.30～31

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 金井昭二

住所 〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5161
FAX 0422-31-5162
URL http://www.scout.or.jp/
Eメール pr@scout.or.jp

- © 財団法人ボーイスカウト日本連盟 / 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。
- バックナンバーをご希望の場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。
- 本誌は再生紙を使用しています。

謹賀新年

本年も心のこもったスカウト用品を皆様にお届けいたします

2007年は世界スカウト運動創始100周年。B-Pにより、最初のスカウトキャンプ(実験キャンプ)が英国のブラウンシー島で行われてから100周年の記念すべき年です。第21回世界スカウトジャンボリーが英国のハイランズパークで開催されます。また、B-Pが1857年2月22日に誕生してから150年目の年にもあたります。この1年をみんなで祝いましょう。

100周年記念品



缶バッジセット (3個セット)

品番-70235 ¥350

オリーブの葉をくわえた平和の鳩、スカウティング新世紀の日の出、100周年をあらわす2007、世界スカウト章のデザインに“ひとつのせかい ひとつのちかい”が日本語の他英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語などで表現されています。直径:4.5cm スコア(世界スカウトショップ)製

《14NJ 記念品》



14NJ 大会アルバム

品番-70807 ¥1,800

仕様:A4判 オールカラー100ページ

14NJ 大会記録DVD

品番-70809 ¥1,500

仕様:46分作品、ソフトパッケージ入り
※テレビ放映の番組とは異なる内容です。

14NJ 大会アルバム・大会記録DVD セット

品番-70811 ¥3,000

2007年福袋

お得な商品がたくさん入っています。袋のデザインは実際とは異なる場合があります。



福袋 大 品番-90000
¥11,000 (税・発送費込)

福袋 小 品番-95000
¥5,500 (税・発送費込)



B-P スケッチワッペン (80種類)

品番-70300 ¥24,000

B-Pのスケッチ80種類をワッペンにしてお届けします。あなたのコレクションにぜひ加えてください。数量限定品 英国連盟製

記載の価格は税込価格です。

■ご利用にあたってのお願い

- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。
- 日本連盟へのご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。日本連盟のインターネットホームページからダウンロードもできます。
http://www.scout.or.jp/j/info/download/download_etc.html
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。

- ファクシミリ [0422-31-5169 スカウト用品専用] でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。

★スカウトカタログ2006 2007等の情報はインターネットでもご覧になれます。

URL : <http://www.scout.or.jp/j/info/supply/catalog.html>



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。

100周年記念

平成19年度 全国大会

日時：2007年5月25日(金)～27日(日)

場所：東京・国立オリンピック記念青少年総合センター



100周年記念レセプション

世界スカウト運動創始100周年記念レセプション

日時：2007年5月26日(土)

場所：東京・帝国ホテル

(平成19年度全国大会とあわせ開催されます)



富士チャレンジキャンプ



会期：2007年8月14日(火)～20日(月)

テーマ：ルネッサンス オブ スカウティング(スカウティングの復興)

会場：日本連盟山中野営場

参加対象：高校生年代のベンチャースカウト

世界スカウト運動 次の100年に向か

いよいよ世界スカウト運動創始100周年の年を迎

この記念すべき年を世界の仲間とともに祝い、そし



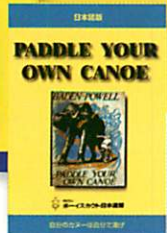
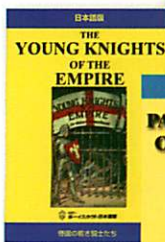
One World One Prom



ブラウンシー島(イギリス・ドーセット州)1907年8月1日～9日、20人の少年とバーデン・パウエルによる実験キャンプが行われた

B-P著作未翻訳 書籍の発行

2005年の『帝国の若き騎士たち』(税込1,200円)の発行に続き、2006年5月『自分のカヌーは自分で漕げ』(1939年出版)が発行されました(税込750円)。本年5月にもさらにもう1冊、発行の予定です。どうぞお楽しみに。



本年5月
さらに1冊
発行予定



ブラウンシー島実 験キャンプ プログ ラムヒントの提供

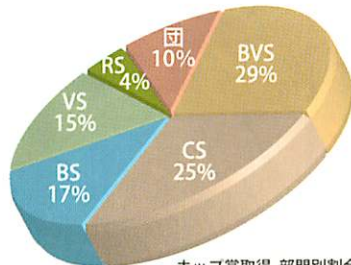
当初、ブラウンシー島再現キャンプの脚本提供を行うとしていましたが、各隊でより幅広い活動を実施していただくために「プログラムのヒント」を提供。2006年7月に配布しました。



運動創始100周年 って飛び立とう!

えました。日本でも多数の記念事業が開催されます。
次の100年に向かって前進していきましょう。

ステップアップ100運動



ホップ賞取得 部門別割合
(総計 5,208 個)
平成18年10月10日現在

団の加盟員増加とスカウトの進級促進の取り組み。2007年はいよいよ第3年度フォローアップの年。「ジャンプ賞」を目指します。

ギフト・フォー・ピース



「スカウティングにおける平和の推進」のために、ガールスカウト、ボーイスカウト両連盟の青年によって2005年に設置された「ギフト・フォー・ピース実行委員会」が活動しています。



世界スカウト機構主催事業・提唱事業

- ・100周年記念標章のユニフォーム着用(実施中)
- ・ギフト・フォー・ピース (Gifts for Peace)
- ・世界スカウトジャンボリープレ大会「ユーロジャム」(2005年開催)
- ・第21回世界スカウトジャンボリー(2007年開催)
- ・世界の記念行事(World Celebration)
- ・サンライズセレモニー
- ・その他

第21回世界スカウトジャンボリー

第21回世界スカウトジャンボリーは、2007年7月27日(金)～8月8日(水)、イギリスのロンドン近郊ハイランズパークで開催されます。テーマは100周年の標語と同じ「ひとつの世界 ひとつのちがい」です。世界中から4万人が集うこのジャンボリーに、日本連盟からは約1,500人が参加します。

県連盟(地区)・団の 100周年記念事業の推進

100周年記念事業は、全国の各団や県連盟が特色ある活動を展開することが最も重要です。ぜひ様々な活動を計画・実施し活動報告をお送りください。現在報告をいただいている活動は次の通りです。

世界スカウト運動創始100周年記念事業 各県連盟実施事業一覧 これまで報告いただいた事業

件数	県名	主催	名称	期間	場所	参加人数
1	北海道・東北	ブロック	ブロックジャンボリー	2005.7.26～7.30	帯広市	2,387
2	宮城	県連盟	世界ボーイスカウト展	2005.8.19～8.31	仙台市	2,000
3	栃木	県連盟	県ジャンボリー	2005.8.9～8.13	那須野営場	560
4		県連盟	県カブラリー	2005.10.16	矢板市内	1,020
5	群馬	県連盟	県ジャンボリー	2005.8.11～8.15	榛東村	700
6		県連盟	県カブラリー	2005.5.15	熊谷市	3,358
7	埼玉	地区	浦和地区国際交流会in 福島	2005.11.26～11.27	福島県岩瀬郡	88
8		地区	ビーバーまつり	2006.8.27	吉川市	180
9	千葉	県連盟	県カブラリー	2005.5.15	佐倉市	3,005
10		県連盟	県ジャンボリー	2005.8.3～8.7	富津市	2,500
11	神奈川	県連盟	スカウトラリー	2005.11.3	小田原市	3,000
12	静岡	団	白須賀宿のBS活動展	2005.5.1～6.30	浜松市	33
13		団	ステップアップ100 春風に乗ろう!!	2006.4.29	富士宮市	113
14	滋賀	県連盟	県ジャンボリー	2005.8.5～8.8	大野市	283
15	京都	県連盟	国際スカウティングに関するワークショップ(ギフト・フォー・ピース平和のためのスカウティング)	2006.1.28	京都市	50
16		県連盟	B-P祭	2005.2.20	唐津市	315
17	佐賀	県連盟	ベンチャーアクト2005	2005.6.25～10.10	佐賀市	24
18		県連盟	ビーバーデイ	2005.8.27	杵島郡	82

日本ボーイスカウト探訪100選

(スカウティング・メモリアル・ガイドブック)の発行
ガイドブック発行のために、スカウティング誌2006年4月号から、「全国ボーイスカウトゆかりの地探訪」の連載を開始しました。この連載を取りまとめてガイドブックとして発行する予定です。

ise

ボーイスカウトになろう!

ボーイスカウトは子どもたちの自発的な活動を大切に、経験豊富な指導者が見守る中で、子どもたちは『たくましさ』『自主性』『社会性』『協調性』などを学びます。



ボーイスカウトになると...



たくましさ

自然の中でキャンプやハイキングを通して元気な子どもになります。



自主性

食事だって自分たちで作ります。



社会性

野外活動を通して仲間と自然を知り、友情を深めます。



協調性

年齢の違う仲間が助け合って、一つのことを成し遂げます。



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

入団のお問い合わせは フリーコール 0120-333-159 ホームページ <http://www.scout.or.jp>

SCOUTING 2007/1 644

スカウトインク
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
平成19年1月1日発行 毎月1回1日発行

発行 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 金井昭二
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
電話 0422(3)5161(代)

定価 ¥409 (税込)
郵便振替 00110-1-82610
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟

4 931187 663251